

【N-4.1：北側】



平成 23 年 6 月 10 日（過年度：初回）



平成 30 年 7 月 26 日

【N-4.1：南東側】



平成 23 年 6 月 10 日（過年度：初回）



平成 30 年 7 月 26 日

【N-4.1：南側】



平成 23 年 6 月 10 日（過年度：初回）



平成 30 年 7 月 26 日

【N-4.1：西側】



平成 23 年 6 月 10 日（過年度：初回）



平成 30 年 7 月 26 日

図 7.1.3-34 マント群落・ソデ群落の植生状況(N-4.1)

(b) 無障害物帯形成地の植生

N-4.1 の無障害物帯の生育・形成状況を表 7.1.3-38～表 7.1.3-41、図 7.1.3-35 に示した。

無障害物帯縁の植生の推移をみると、無障害物帯は樹木の伐採が行われた後、埋土種子からの発芽や周辺からの草本類の侵入による植被率の増加がみられ、植生の回復が進んでいることを確認した。

評価図書においては、無障害物帯は早期緑化を行うこととしており、その環境保全措置を実施できたと考えられる。以下に各調査地点の植生状況について整理した。

北側は、過年度の調査(平成 29 年度)では、草丈 0.3～0.5m、植被率 80～95%、出現種 14～15 種であった。今年度調査においては、草丈 0.5m、植被率 95%、出現種 18～20 種であった。過年度から引き続き、ハイシロノセンダングサが優占するほか、コゴメスゲ、ホシダも高い被度を示し、植生の回復が確認された。

南東側は、過年度の調査(平成 29 年度)では、草丈 1.8m、植被率 95～100%、出現種 15～19 種であった。今年度調査においては、草丈 1.8m、植被率 100%、出現種 16～20 種であった。過年度から引き続き、草本類のススキが優占するほか、ホシダ、コゴメスゲも高い被度を示し、植生の回復が確認された。

南側は、過年度の調査(平成 29 年度)では、草丈 1.5m、植被率 80～90%、出現種 16～21 種であった。今年度調査においては、草丈 1.5m、植被率 80～85%、出現種 19～22 種であった。過年度から引き続き、草本類のススキが優占するほか、コゴメスゲも高い被度を示し、植生の回復が確認された。

西側は、過年度の調査(平成 29 年度)では、草丈 0.8m、植被率 95～100%、出現種 6～13 種であった。今年度調査においては、草丈 0.8m、植被率 95～100%、出現種 6～13 種であった。過年度から引き続き、草本類のチガヤが優占するほか、ススキ、ハイシロノセンダングサも高い被度を示し、植生の回復が確認された。

表 7.1.3-38(1) 無障害物帯形成地の植生調査結果 (N-4.1 北側)

N-4.1 無障害物帯形成地	北側			北側				北側			
	H23年度			H24年度				H25年度			
	6/10	9/27	1/10	5/30	9/27	11/13	1/21	4/24	9/26	11/15	1/17
調査年月日											
海拔 (m)	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178
方位	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N
傾斜角度 (°)	15	15	15	15	15	5	5	5	5	5	5
調査区面積 (m ²)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層(H)の高さ (m)	0.3	1.0	0.9	0.8	1.2	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.2
草本層(H)の植被率 (%)	40	85	95	95	10	15	30	60	70	90	90
草本層(H)の出現数 (種)	22	28	25	28	12	22	27	23	21	24	24
出現種数 (種)	22	28	25	28	12	22	27	23	21	24	24
低木層(S)											
S.1 タブノキ											
S.2 ナカハラクロキ											
S.3 ヒメユズリハ											
S.4 ヤマモモ											
草本層(H)											
H.1 ホシダ	+	+2	1・2	1・2	+	+	+2	+2	+	+	+
H.2 ハイシロノセンダングサ	1・2	3・3	3・3	2・2	+	+2	1・2	1・2	2・2	2・2	2・2
H.3 ススキ	+	+	1・2	1・2	+2	+2	1・2	2・3	3・4	3・3	4・4
H.4 コゴメスゲ	1・2	1・2	1・2	+			+2	1・2	2・2	2・2	2・3
H.5 ギンゴウカン(ギンネム)		+	+							+	+
H.6 アカメガシワ	+2	1・2	1・2	1・2	+	+	+2	+	+	+	+
H.7 リュウキュウチク					+	+	+	+	+	+	+
H.8 カキバカンコノキ						+	+	+	+	+	+
H.9 タブノキ	+	+	+	+							
H.10 オキナワサルトリイバラ	+	+		+							
H.11 ホルトノキ(モガシ)					+	+	+	+	+	+	+
H.12 ホウロクイチゴ	+	+	+	+		+	+	+	+	+	+
H.13 エダウチチヂミザサ	+	+	+	+2	+	+2	+2	+2	+2	1・2	1・2
H.14 ヒメユズリハ	+	+	+	+		+		+			
H.15 リュウキュウテイカズラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+2
H.16 イヌビワ		+	+	+		+	+	+	+	+	+
H.17 シマイズセンリョウ	+		+	+		+	+	+	+	+	+
H.18 コバナヒメハギ	+	1・2	1・2	+2		+	+	+	+2	+	
H.19 アオノクマタケラン	+2	+2	+2	+2	+	+	+	+	+	+	+
H.20 シロダモ		+		+							
H.21 オオムラサキシキブ		+	+	+2		+	+	+	+		
H.22 アメリカハマグルマ											
H.23 ツボクサ		+2	+2	+							
H.24 リュウキュウバライチゴ					+	+	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2
H.25 コンロンカ						+	+	+		+	
H.26 ヤマグワ	+	+	+	+	+		+	+	+	+	+
H.27 シラタマカズラ		+		+							
H.28 ホソバムクイヌビワ		+	+	+							
H.29 スダジイ(イタジイ)					+	+	+	+	+	+	+
H.30 リュウキュウイチゴ											

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-38(2) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.1 北側)

N-4.1 無障害物帯形成地	北側				北側				北側			
	H23年度			H24年度				H25年度				
	6/10	9/27	1/10	5/30	9/27	11/13	1/21	4/24	9/26	11/15	1/17	
調査年月日												
海拔 (m)	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178	
方位	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	
傾斜角度 (°)	15	15	15	15	15	5	5	5	5	5	5	
調査区面積 (m ²)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
草本層(H)の高さ (m)	0.3	1.0	0.9	0.8	1.2	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.2	
草本層(H)の植被率 (%)	40	85	95	95	10	15	30	60	70	90	90	
草本層(H)の出現数 (種)	22	28	25	28	12	22	27	23	21	24	24	
出現種数 (種)	22	28	25	28	12	22	27	23	21	24	24	
草本層(H)												
H. 31 コバンモチ												
H. 32 ナガバハリフタバ												
H. 33 オニタビラコ	+	+				+	+				+	
H. 34 カタバミ	+	+		+		+	+				+	
H. 35 ヘクソカズラ		+					+					
H. 36 チガヤ												
H. 37 シシアクチ	+	+	+	+								
H. 38 イスノキ			+	+								
H. 39 リュウキュウマノズクサ							+	+	+		+	
H. 40 エゴノキ												
H. 41 ヒラミレモン	+	+	+	+								
H. 42 リュウキュウマツ												
H. 43 ケホシダ												
H. 44 シバ												
H. 45 ナワシロイチゴ			+					+				
H. 46 ハゼノキ												
H. 47 ヤブニッケイ												
H. 48 サキシマフヨウ				+								
H. 49 トキワカモメツル							+			+	+	
H. 50 フカノキ												
H. 51 インドシャリンバイ												
H. 52 モクレイシ		+					+			+	+	
H. 53 シマサルナン										+		
H. 54 トベラ												
H. 55 ハマクマツツラ												
H. 56 ギーマ												
H. 57 ケテイカカズラ				+		+						
H. 58 ヤマモモ												
H. 59 タイワンアキグミ												
H. 60 カスマグサ												
H. 61 アキノゲシ												
H. 62 マンリョウ	+	+	+									
H. 63 クチナシ			+	+								
H. 64 ナカハラクロキ									+			
H. 65 キキョウラン												

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーベツト状に分布, 4: カーベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-38(3) 無障害物帯形成地の植生調査結果 (N-4.1 北側)

調査年月日	北側			北側				北側			
	H23年度			H24年度				H25年度			
	6/10	9/27	1/10	5/30	9/27	11/13	1/21	4/24	9/26	11/15	1/17
海拔 (m)	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178
方位	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N
傾斜角度 (°)	15	15	15	15	15	5	5	5	5	5	5
調査区面積 (m ²)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層(H)の高さ (m)	0.3	1.0	0.9	0.8	1.2	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.2
草本層(H)の植被率 (%)	40	85	95	95	10	15	30	60	70	90	90
草本層(H)の出現数 (種)	22	28	25	28	12	22	27	23	21	24	24
出現種数 (種)	22	28	25	28	12	22	27	23	21	24	24
草本層(H)											
H. 66 コブナグサ											
H. 67 											
H. 68 ヤハズソウ											
H. 69 ノゲシ											
H. 70 ギョウギシバ											
H. 71 リュウキュウモチ										+	+
H. 72 ヒメアブラスキ											
H. 73 ハナガサノキ											
H. 74 カクレミノ											
H. 75 マルバダケハギ											
H. 76 シバヤブニッケイ											
H. 77 オオアレチノギク											
H. 78 コヤブタバコ	+										
H. 79 ツボミオオバコ	+										
H. 80 コナスビ								+			
H. 81 											
H. 82 ソメモノカズラ											
H. 83 リュウキュウボタンヅル											
H. 84 ナンバンギセル											
H. 85 クロミノオキナワスズメウリ											
H. 86 ゴンズイ											
H. 87 ササクサ											
H. 88 モクタチバナ											
H. 89 アカメイヌビワ											
H. 90 タイミンタチバナ											
H. 91 ヒメイタビ											
H. 92 キバナニワゼキショウ											
H. 93 コバノヨツバムグラ											
H. 94 タカサゴコウゾリナ											
H. 95 アメリカフウロ											
H. 96 イヌムギ											
H. 97 ヒメアオスゲ(ミヤマスゲ)											
H. 98 キツネノボタン											

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-38(4) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.1 北側)

N-4.1 無障害物帯形成地	北側				北側		北側				北側	
	H26年度				H27年度		H29年度				H30年度	
	6/4	8/30	11/14	1/27	6/10	9/4	6/2	9/1	11/29	1/30	5/8	7/26
調査年月日												
海拔 (m)	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178
方位	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N
傾斜角度 (°)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
調査区面積 (m ²)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層(H)の高さ (m)	1.6	1.6	1.8	1.8	1.8	1.5	0.5	0.3	0.5	0.5	0.5	0.5
草本層(H)の植被率 (%)	100	50	60	70	80	80	90	80	90	95	95	95
草本層(H)の出現数 (種)	21	15	23	19	21	21	15	14	15	15	20	18
出現種数 (種)	21	15	23	19	21	21	15	14	15	15	20	18
低木層(S)												
S.1 タブノキ												
S.2 ナカハラクロキ												
S.3 ヒメユズリハ												
S.4 ヤマモモ												
草本層(H)												
H.1 ホシダ	+	+2	+2	1・2	1・2	1・2	3・3	2・2	2・3	2・3	2・3	2・3
H.2 ハイシロノセンダングサ	2・2	+	+2	+2	+2	+2	4・5	4・4	4・5	4・4	4・4	4・4
H.3 ススキ	4・4	3・3	3・3	4・4	4・4	4・4	+	+	+	+	+	+
H.4 コゴメスゲ	2・3	+2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	2・2	3・3	3・4	3・4
H.5 ギンゴウカン(ギンネム)	+	+	+	+	+	+	+	+	+		+	+
H.6 アカメガシワ	+2	+	+	+	+	+						
H.7 リュウキュウチク	+				+	+		+	+	+	+	+
H.8 カキバカンコノキ	+	+	+	+	+	+						
H.9 タブノキ			+									
H.10 オキナワサルトリイバラ		+	+		+	+						
H.11 ホルトノキ(モガシ)	+		+	+	+							
H.12 ホウロクイチゴ	+		+	+	+2	+2						
H.13 エダウチチヂミザサ	1・2	+	+2	+	+	+	+2	+	+2		+2	+
H.14 ヒメユズリハ												
H.15 リュウキュウテイカカズラ	+2		+2	+	+	+	+	+			+	+
H.16 イヌビワ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.17 シマイズセンリョウ	+	+	+	+	+					+		
H.18 コバナヒメハギ			+	+	+	+	+	+	1・2	2・2	+	+
H.19 アオノクマタケラン	+		+	+	+	+						
H.20 シロダモ												
H.21 オオムラサキシキブ		+	+	+	+	+			+	+	+	+
H.22 アメリカハマグルマ												
H.23 ツボクサ									+	+	+2	+
H.24 リュウキュウバライチゴ	1・2	+2	+2	+2	+2	+2	+	+	+	+		
H.25 コンロンカ											+	
H.26 ヤマグワ	+		+					+		+		
H.27 シラタマカズラ												
H.28 ホソバムクイヌビワ					+	+						
H.29 スダジイ(イタジイ)	+											
H.30 リュウキュウイチゴ												

注1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーペット状に分布, 4: カーペットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注2) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-38(5) 無障害物帯形成地の植生調査結果 (N-4.1 北側)

N-4.1 無障害物帯形成地	北側				北側		北側				北側		
	H26年度				H27年度		H29年度				H30年度		
	6/4	8/30	11/14	1/27	6/10	9/4	6/2	9/1	11/29	1/30	5/8	7/26	
調査年月日													
海拔 (m)	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178	
方位	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	
傾斜角度 (°)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
調査区面積 (m ²)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
草本層(H)の高さ (m)	1.6	1.6	1.8	1.8	1.8	1.5	0.5	0.3	0.5	0.5	0.5	0.5	
草本層(H)の植被率 (%)	100	50	60	70	80	80	90	80	90	95	95	95	
草本層(H)の出現数 (種)	21	15	23	19	21	21	15	14	15	15	20	18	
出現種数 (種)	21	15	23	19	21	21	15	14	15	15	20	18	
草本層(H)													
H. 31 コバンモチ													
H. 32 ナガバハリフタバ							+	+	+		+	+	
H. 33 オニタビラコ							+2		+2		+	+	
H. 34 カタバミ							+				+		
H. 35 ヘクソカズラ											+		
H. 36 チガヤ										+2	+	+	
H. 37 シシアクチ													
H. 38 イスノキ													
H. 39 リュウキュウマノスズクサ	+		+	+		+							
H. 40 エゴノキ													
H. 41 ヒラミレモン		+	+	+	+	+							
H. 42 リュウキュウマツ													
H. 43 ケホシダ													
H. 44 シバ													
H. 45 ナワシロイチゴ													
H. 46 ハゼノキ													
H. 47 ヤブニッケイ													
H. 48 サキシマフヨウ													
H. 49 トキワカモメツル	+												
H. 50 フカノキ													
H. 51 インドシャリンバイ													
H. 52 モクレイシ	+												
H. 53 シマサルナシ							+	+	+				
H. 54 トベラ													
H. 55 ハマクマツヅラ													
H. 56 ギーマ													
H. 57 ケテイカカズラ		+	+										
H. 58 ヤマモモ													
H. 59 タイワンアキグミ													
H. 60 カスマグサ													
H. 61 アキノゲシ													
H. 62 マンリョウ													
H. 63 クチナシ													
H. 64 ナカハラクロキ													
H. 65 キキョウラン											+	+	+

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーペット状に分布, 4: カーペットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-38(6) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.1 北側)

調査年月日	N-4.1 無障害物帯形成地												
	北側				北側		北側				北側		
	H26年度				H27年度		H29年度				H30年度		
	6/4	8/30	11/14	1/27	6/10	9/4	6/2	9/1	11/29	1/30	5/8	7/26	
海拔 (m)	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178	
方位	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	
傾斜角度 (°)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
調査区面積 (m ²)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
草本層(H)の高さ (m)	1.6	1.6	1.8	1.8	1.8	1.5	0.5	0.3	0.5	0.5	0.5	0.5	
草本層(H)の植被率 (%)	100	50	60	70	80	80	90	80	90	95	95	95	
草本層(H)の出現数 (種)	21	15	23	19	21	21	15	14	15	15	20	18	
出現種数 (種)	21	15	23	19	21	21	15	14	15	15	20	18	
草本層(H)													
H. 66 コブナグサ											+	+	+
H. 67 													
H. 68 ヤハズソウ													
H. 69 ノゲシ													
H. 70 ギョウギシバ													
H. 71 リュウキュウモチ													
H. 72 ヒメアブラスキ									++2				
H. 73 ハナガサノキ													+
H. 74 カクレミノ													
H. 75 マルバダケハギ													
H. 76 シバヤブニッケイ													
H. 77 オオアレチノギク													
H. 78 コヤブタバコ													
H. 79 ツボミオオバコ													
H. 80 コナスビ													
H. 81 									+				
H. 82 ソメモノカズラ													
H. 83 リュウキュウボタンヅル													
H. 84 ナンバンギセル													
H. 85 クロミノオキナワズメウリ													
H. 86 ゴンズイ													
H. 87 ササクサ													
H. 88 モクタチバナ													
H. 89 アカメイスビワ													
H. 90 タイミンタチバナ													
H. 91 ヒメイタビ													
H. 92 キバナニワゼキショウ													
H. 93 コバノヨツバムグラ													
H. 94 タカサゴコウゾリナ													
H. 95 アメリカフウロ													
H. 96 イヌムギ													
H. 97 ヒメアオスゲ(ミヤマスゲ)													
H. 98 キツネノボタン													

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーペット状に分布, 4: カーペットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-39(1) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.1 南東側)

N-4.1 無障害物帯形成地	南東側			南東側				南東側			
	H23年度			H24年度				H25年度			
	6/10	9/27	1/10	5/30	9/27	11/13	1/21	4/24	9/26	11/15	1/17
調査年月日											
海拔 (m)	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175
方位	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW
傾斜角度 (°)	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
調査区面積 (m ²)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	1.6	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
草本層(H)の高さ (m)	0.4	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.8	1.0	1.0	1.0
草本層(H)の植被率 (%)	20	90	90	95	10	25	40	50	60	80	90
草本層(H)の出現数 (種)	21	23	22	32	12	23	21	22	20	19	18
出現種数 (種)	21	23	22	32	12	23	21	22	20	19	18
低木層(S)											
S.1 タブノキ				+							
S.2 ナカハラクロキ				+							
S.3 ヒメユズリハ				+							
S.4 ヤマモモ				+							
草本層(H)											
H.1 ホシダ	+	1・2	1・2	1・2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2
H.2 ハイシロノセンダングサ	+	1・2	1・2	1・2	+2	+2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2
H.3 ススキ		4・4	4・4	4・4	1・2	1・2	2・2	2・3	3・3	3・3	4・4
H.4 コゴメスゲ	+	+	+	+		+2	+2	1・2	1・2	1・2	1・2
H.5 ギンゴウカン(ギンネム)		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.6 アカメガシワ	+2	+2	+2	+2	+	+2	+2	+2	+	+	+
H.7 リュウキュウチク	+2	+2	+2	+2	+	+	+	+	+	+	+
H.8 カキバカンコノキ	+		+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.9 タブノキ	+	+		+	+	+	+	+	+	+	+
H.10 オキナワサルトリイバラ	+	+	+	+		+	+	+	+		+
H.11 ホルトノキ(モガシ)		+	+	+		+	+	+	+	+	+
H.12 ホウロクイチゴ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.13 エダウチチヂミザサ											
H.14 ヒメユズリハ	+	+	+	+2		+		+	+	+	+
H.15 リュウキュウテイカカズラ	+		+	+							
H.16 イヌビワ	+	+								+	
H.17 シマイズセンリョウ	+	+		+		+	+	+	+	+	+
H.18 コバナヒメハギ	+	+2	+2	+			+	+	+		
H.19 アオノクマタケラン	+	+				+	+	+			
H.20 シロダモ			+	+							
H.21 オオムラサキシキブ			+								
H.22 アメリカハマグルマ											
H.23 ツボクサ	+	+	+	+							
H.24 リュウキュウバライチゴ				+		+					
H.25 コンロンカ				+		+	+	+	+	+	
H.26 ヤマグワ											
H.27 シラタマカズラ				+	+	+		+	+	+	+
H.28 ホソバムクイヌビワ		+2				+	+				
H.29 スダジイ(イタジイ)			+	+	+	+	+	+			
H.30 リュウキュウイチゴ				+		+	+	+	+	+	+

注1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布
注2) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-39(2) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.1 南東側)

調査年月日	N-4.1 無障害物帯形成地											
	南東側			南東側				南東側				
	H23年度			H24年度				H25年度				
	6/10	9/27	1/10	5/30	9/27	11/13	1/21	4/24	9/26	11/15	1/17	
海拔 (m)	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	
方位	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	
傾斜角度 (°)	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	
調査区面積 (m ²)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	1.6	-	-	-	-	-	-	-	
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	
草本層(H)の高さ (m)	0.4	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.8	1.0	1.0	1.0	
草本層(H)の植被率 (%)	20	90	90	95	10	25	40	50	60	80	90	
草本層(H)の出現数 (種)	21	23	22	32	12	23	21	22	20	19	18	
出現種数 (種)	21	23	22	32	12	23	21	22	20	19	18	
草本層(H)												
H. 31 コバンモチ												
H. 32 ナガバハリフタバ												
H. 33 オニタビラコ												
H. 34 カタバミ		+										
H. 35 ヘクソカズラ												
H. 36 チガヤ												
H. 37 シシアクチ												
H. 38 イスノキ											+	
H. 39 リュウキュウウマノズクサ												
H. 40 エゴノキ					+	+						
H. 41 ヒラミレモン												
H. 42 リュウキュウマツ	+			+								
H. 43 ケホシダ							+	+	+	+	+	
H. 44 シバ												
H. 45 ナワシロイチゴ	+		++2	+								
H. 46 ハゼノキ												
H. 47 ヤブニッケイ												
H. 48 サキシマフヨウ				+								
H. 49 トキワカモメツル	+			+								
H. 50 フカノキ		+	+	+								
H. 51 インドシャリンバイ												
H. 52 モクレイシ												
H. 53 シマサルナシ		+										
H. 54 トベラ	+		+	+								
H. 55 ハマクマツツラ												
H. 56 ギーマ						+	+	+	+			
H. 57 ケテイカカズラ												
H. 58 ヤマモモ	+		+	+								
H. 59 タイワンアキグミ												
H. 60 カスマグサ												
H. 61 アキノゲシ												
H. 62 マンリョウ												
H. 63 クチナシ				+								
H. 64 ナカハラクロキ				+								
H. 65 キキョウラン												

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーベツ状に分布, 4: カーベツに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-39(3) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.1 南東側)

調査年月日	南東側			南東側				南東側			
	H23年度			H24年度				H25年度			
	6/10	9/27	1/10	5/30	9/27	11/13	1/21	4/24	9/26	11/15	1/17
海拔 (m)	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175
方位	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW
傾斜角度 (°)	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
調査区面積 (m ²)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	1.6	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
草本層(H)の高さ (m)	0.4	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.8	1.0	1.0	1.0
草本層(H)の植被率 (%)	20	90	90	95	10	25	40	50	60	80	90
草本層(H)の出現数 (種)	21	23	22	32	12	23	21	22	20	19	18
出現種数 (種)	21	23	22	32	12	23	21	22	20	19	18
草本層(H)											
H. 66 コブナグサ											
H. 67 											
H. 68 ヤハズソウ											
H. 69 ノゲシ											
H. 70 ギョウギシバ											
H. 71 リュウキュウモチ											
H. 72 ヒメアブラスキ										+	
H. 73 ハナガサノキ											
H. 74 カクレミノ											
H. 75 マルバダケハギ											
H. 76 シバヤブニツケイ											
H. 77 オオアレチノギク											
H. 78 コヤブタバコ											
H. 79 ツボミオオバコ											
H. 80 コナスビ											
H. 81 											
H. 82 ソメモノカズラ		+									
H. 83 リュウキュウボタンヅル		+									
H. 84 ナンバンギセル											
H. 85 クロミノオキナワスズメウリ											
H. 86 ゴンズイ											
H. 87 ササクサ											
H. 88 モクタチバナ											
H. 89 アカメイヌビワ											
H. 90 タイミンタチバナ											
H. 91 ヒメイタビ											
H. 92 キバナニワゼキショウ											
H. 93 コバノヨツバムグラ											
H. 94 タカサゴコウゾリナ											
H. 95 アメリカフウロ											
H. 96 イヌムギ											
H. 97 ヒメアオスゲ(ミヤマスゲ)											
H. 98 キツネノボタン											

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-39(4) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.1 南東側)

N-4.1 無障害物帯形成地	南東側				南東側		南東側				南東側	
	H26年度				H27年度		H29年度				H30年度	
調査年月日	6/4	8/30	11/14	1/27	6/10	9/4	6/2	9/1	11/29	1/30	5/8	7/26
海拔 (m)	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175
方位	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW
傾斜角度 (°)	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
調査区面積 (m ²)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層(H)の高さ (m)	1.5	1.5	1.6	2.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
草本層(H)の植被率 (%)	100	100	100	95	95	95	95	95	100	100	100	100
草本層(H)の出現数 (種)	17	17	23	22	21	22	18	19	18	15	20	16
出現種数 (種)	17	17	23	22	21	22	18	19	18	15	20	16
低木層(S)												
S.1 タブノキ												
S.2 ナカハラクロキ												
S.3 ヒメユズリハ												
S.4 ヤマモモ												
草本層(H)												
H.1 ホシダ	+2	+2	+2	2・2	2・2	2・2	2・3	2・3	3・3	4・4	4・4	4・4
H.2 ハイシロノセンダングサ	+2	+2	+2	+	+	+						
H.3 ススキ	4・4	4・4	4・4	4・4	4・4	4・4	4・4	4・4	4・5	4・5	4・5	4・5
H.4 コゴメスゲ	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	3・3	3・3	3・3	3・3	3・3	3・3
H.5 ギンゴウカン(ギンネム)	+	+	+	+	+	+	+	1・1	1・1	+	+	+
H.6 アカメガシワ	+	+	+	+	+	+	+	+	+		+	+
H.7 リュウキュウチク	+	+	+	+	+	+	+	+	+			
H.8 カキバカンコノキ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.9 タブノキ	+	+	+	+	+	+	+	+	+2	+2	+	+
H.10 オキナワサルトリイバラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
H.11 ホルトノキ(モガシ)	+	+	+	+	+	+	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1
H.12 ホウロクイチゴ	+	+	+	+				+		+	+	+
H.13 エダウチチヂミザサ				+								
H.14 ヒメユズリハ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.15 リュウキュウテイカズラ			+	+	+	+		+			+	
H.16 イヌビワ												
H.17 シマイゼンリョウ	+	+	+	+	+	+	+2	+2	+2	+	+2	+
H.18 コバナヒメハギ	+	+	+									
H.19 アオノクマタケラン				+	+	+	+	+	+	+	+	
H.20 シロダモ					+	+	+	+	+	+	+	+
H.21 オオムラサキシキブ			+	+								
H.22 アメリカハマグルマ												
H.23 ツボクサ												
H.24 リュウキュウバライチゴ												
H.25 コンロンカ				+			+	+	+			
H.26 ヤマグワ												
H.27 シラタマカズラ	+	+	+	+	+	+						
H.28 ホソバムクイヌビワ												
H.29 スダジイ(イタジイ)											+	+
H.30 リュウキュウイチゴ	+	+	+	+	+	+						

注1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーペット状に分布, 4: カーペットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注2) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-39(5) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.1 南東側)

N-4.1 無障害物帯形成地	南東側				南東側		南東側				南東側	
	H26年度				H27年度		H29年度				H30年度	
	6/4	8/30	11/14	1/27	6/10	9/4	6/2	9/1	11/29	1/30	5/8	7/26
調査年月日												
海拔 (m)	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175
方位	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW
傾斜角度 (°)	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
調査区面積 (m ²)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層(H)の高さ (m)	1.5	1.5	1.6	2.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
草本層(H)の植被率 (%)	100	100	100	95	95	95	95	95	100	100	100	100
草本層(H)の出現数 (種)	17	17	23	22	21	22	18	19	18	15	20	16
出現種数 (種)	17	17	23	22	21	22	18	19	18	15	20	16
草本層(H)												
H. 31 コバンモチ			+	+								
H. 32 ナガバハリフタバ												
H. 33 オニタビラコ												
H. 34 カタバミ			+									
H. 35 ヘクソカズラ												
H. 36 チガヤ												
H. 37 シシアクチ												
H. 38 イスノキ			+		+	+	+	+	+	+	+	+
H. 39 リュウキュウマノスズクサ												
H. 40 エゴノキ					+	+	+	+			+	+
H. 41 ヒラミレモン												
H. 42 リュウキュウマツ												
H. 43 ケホシダ			+		+	+						
H. 44 シバ												
H. 45 ナワシロイチゴ												
H. 46 ハゼノキ												
H. 47 ヤブニッケイ												
H. 48 サキシマフヨウ												
H. 49 トキワカモメツル												
H. 50 フカノキ						+						
H. 51 インドシャリンバイ												
H. 52 モクレイシ												
H. 53 シマサルナシ												
H. 54 トベラ												
H. 55 ハマクマツヅラ												
H. 56 ギーマ							+					
H. 57 ケテイカカズラ												
H. 58 ヤマモモ												
H. 59 タイワンアキグミ												
H. 60 カスマグサ												
H. 61 アキノゲシ												
H. 62 マンリョウ												
H. 63 クチナシ												
H. 64 ナカハラクロキ												
H. 65 キキョウラン												

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーペット状に分布, 4: カーペットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-40(1) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.1 南側)

N-4.1 無障害物帯形成地	南側			南側				南側			
	H23年度			H24年度				H25年度			
	6/10	9/27	1/10	5/30	9/27	11/13	1/21	4/24	9/26	11/15	1/17
調査年月日											
海拔 (m)	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176
方位	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE
傾斜角度 (°)	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
調査区面積 (m ²)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層(H)の高さ (m)	0.3	1.1	0.9	1.0	0.3	0.5	0.8	1.0	1.3	1.3	1.3
草本層(H)の植被率 (%)	25	40	60	80	20	30	50	70	80	100	100
草本層(H)の出現数 (種)	25	31	32	34	15	17	22	24	17	21	19
出現種数 (種)	25	31	32	34	15	17	22	24	17	21	19
低木層(S)											
S.1 タブノキ											
S.2 ナカハラクロキ											
S.3 ヒメユズリハ											
S.4 ヤマモモ											
草本層(H)											
H.1 ホシダ		+	+		+	+	+	+	+	+	+
H.2 ハイシロノセンダングサ	+	+	+	+	+2	+2	1・2	1・2	1・2	+2	+2
H.3 ススキ			1・1	1・2	1・2	1・2	2・2	3・3	4・4	4・4	4・4
H.4 コゴメスゲ	+2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	2・2	2・3	2・3	2・3
H.5 ギンゴウカン(ギンネム)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.6 アカメガシワ	+	1・2	1・2	1・2	+	+	+	+	+	+	+
H.7 リュウキュウチク	+	+	+	+	+2	+2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2
H.8 カキバカンコノキ		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.9 タブノキ	+	+	+	+			+	+	+	+	+
H.10 オキナワサルトリイバラ	+	+	+	+			+	+	+	+	+
H.11 ホルトノキ(モガシ)	+			+	+	+	+	+	+	+	+
H.12 ホウロクイチゴ				+	+	+	+	+	+	+	+
H.13 エダウチチヂミザサ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.14 ヒメユズリハ	+	+	+	+							
H.15 リュウキュウテイカズラ		+	+								
H.16 イヌビワ	+	+				+	+	+			
H.17 シマイズセンリョウ											
H.18 コバナヒメハギ	+	+2	+2	+				+		+	
H.19 アオノクマタケラン		+	+	+							
H.20 シロダモ	+	+	+	+		+	+	+	+	+	+
H.21 オオムラサキシキブ			+	+	+	+	+	+			+
H.22 アメリカハマグルマ		+	+	+	+	+	+				+
H.23 ツボクサ	+										+
H.24 リュウキュウバライチゴ		+	+	+							
H.25 コンロンカ		+				+	+			+	
H.26 ヤマグワ					+		+	+	+		+
H.27 シラタマカズラ		+	+	+							
H.28 ホソバムクイヌビワ		+	1・1	1・1							
H.29 スダジイ(イタジイ)					+	+					
H.30 リュウキュウイチゴ				+			+	+			+

注1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注2) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-40(2) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.1 南側)

N-4.1 無障害物帯形成地	南側			南側				南側			
	H23年度			H24年度				H25年度			
	6/10	9/27	1/10	5/30	9/27	11/13	1/21	4/24	9/26	11/15	1/17
調査年月日											
海拔 (m)	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176
方位	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE
傾斜角度 (°)	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
調査区面積 (m ²)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層(H)の高さ (m)	0.3	1.1	0.9	1.0	0.3	0.5	0.8	1.0	1.3	1.3	1.3
草本層(H)の植被率 (%)	25	40	60	80	20	30	50	70	80	100	100
草本層(H)の出現数 (種)	25	31	32	34	15	17	22	24	17	21	19
出現種数 (種)	25	31	32	34	15	17	22	24	17	21	19
草本層(H)											
H. 31 コバンモチ	+	+	+2	+2				+			
H. 32 ナガバハリフタバ											
H. 33 オニタビラコ			+	+			+	+			
H. 34 カタバミ											
H. 35 ヘクソカズラ	+	+									
H. 36 チガヤ											
H. 37 シシアクチ								+	+	+	+
H. 38 イスノキ											
H. 39 リュウキュウウマノスズクサ	+		+								
H. 40 エゴノキ		+	+	+							
H. 41 ヒラミレモン											
H. 42 リュウキュウマツ	+	+	+	+							
H. 43 ケホシダ											
H. 44 シバ											
H. 45 ナワシロイチゴ		+	+	+							
H. 46 ハゼノキ	+	+	+	+						+	
H. 47 ヤブニッケイ	+	+	+	+							
H. 48 サキシマフヨウ		+	+	+							
H. 49 トキワカモメツル	+										
H. 50 フカノキ											
H. 51 インドシャリンバイ			+	+					+	+	
H. 52 モクレイシ											
H. 53 シマサルナン											
H. 54 トベラ		+									
H. 55 ハマクマツヅラ	+										
H. 56 ギーマ											
H. 57 ケテイカカズラ											
H. 58 ヤマモモ											
H. 59 タイワンアキグミ								+		+	
H. 60 カスマグサ											
H. 61 アキノゲシ											
H. 62 マンリョウ											
H. 63 クチナシ											
H. 64 ナカハラクロキ				+							
H. 65 キキョウラン											
H. 66 コブナグサ											

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5：被度が75～100%、4：被度が50～75%、3：被度が25～50%、2：被度が10～25%、1：被度が10%未満、+：被度が1%以下

群度→5：カーペット状に分布、4：カーペットに穴が開いた状態、3：大きな班を形成あるいはまだら状、2：班状に分布、1：小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-40(3) 無障害物帯形成地の植生調査結果 (N-4.1 南側)

調査年月日	H23年度			H24年度				H25年度			
	6/10	9/27	1/10	5/30	9/27	11/13	1/21	4/24	9/26	11/15	1/17
	調査区面積 (m ²)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層(H)の高さ (m)	0.3	1.1	0.9	1.0	0.3	0.5	0.8	1.0	1.3	1.3	1.3
草本層(H)の植被率 (%)	25	40	60	80	20	30	50	70	80	100	100
草本層(H)の出現数 (種)	25	31	32	34	15	17	22	24	17	21	19
出現種数 (種)	25	31	32	34	15	17	22	24	17	21	19
草本層(H)											
H. 67											
H. 68 ヤハズソウ											
H. 69 ノゲシ											
H. 70 ギョウギシバ											
H. 71 リュウキュウモチ											
H. 72 ヒメアブラスキ											
H. 73 ハナガサノキ				+							
H. 74 カクレミノ											
H. 75 マルバダケハギ		+	+								
H. 76 シバヤブニッケイ				+							
H. 77 オオアレチノギク											
H. 78 コヤブタバコ											
H. 79 ツボミオオバコ											
H. 80 コナスビ											
H. 81											
H. 82 ソメモノカズラ											
H. 83 リュウキュウボタンヅル											
H. 84 ナンバンギセル											
H. 85 クロミノオキナワズズメウリ	+										
H. 86 ゴンズイ	+										
H. 87 ササクサ	+										
H. 88 モクタチバナ							+				
H. 89 アカメイヌビワ								+			
H. 90 タイミンタチバナ											
H. 91 ヒメイタビ											
H. 92 キバナニワゼキショウ											
H. 93 コパノヨツバムグラ											
H. 94 タカサゴコウゾリナ											
H. 95 アメリカフウロ											
H. 96 イヌムギ											
H. 97 ヒメアオスゲ(ミヤマスゲ)											
H. 98 キツネノボタン											

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーベツト状に分布, 4: カーベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-40(4) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.1 南側)

調査年月日	N-4.1 無障害物帯形成地											
	南側				南側		南側				南側	
	H26年度				H27年度		H29年度				H30年度	
	6/4	8/30	11/14	1/27	6/10	9/4	6/2	9/1	11/29	1/30	5/8	7/26
海拔 (m)	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176
方位	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE
傾斜角度 (°)	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
調査区面積 (m ²)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層(H)の高さ (m)	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.6	1.6
草本層(H)の植被率 (%)	100	100	100	100	100	100	90	90	90	80	80	85
草本層(H)の出現数 (種)	19	19	22	21	20	20	21	20	18	16	19	22
出現種数 (種)	19	19	22	21	20	20	21	20	18	16	19	22
低木層(S)												
S.1 タブノキ												
S.2 ナカハラクロキ												
S.3 ヒメユズリハ												
S.4 ヤマモモ												
草本層(H)												
H.1 ホシダ	+	+	+	+	+	+	+2	+2	+2	1・2	1・2	1・2
H.2 ハイシロノセンダングサ	+2	+	+	+	+	+			+	+	+	+
H.3 ススキ	4・4	4・4	4・4	4・4	4・4	4・4	3・3	3・4	4・4	4・4	4・4	4・4
H.4 コゴメスゲ	2・3	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2	2・3	2・3	2・3	3・3	3・3	3・3
H.5 ギンゴウカン(ギンネム)	+	+			+	+	+	+	+	+	+	+
H.6 アカメガシワ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+2	+
H.7 リュウキュウチク	1・2	1・2	+2	+2	+	+						
H.8 カキバカンコノキ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.9 タブノキ	+	+	+	+	+	+	1・2	+2	+2	+	+	+
H.10 オキナワサルトリイバラ	+	+			+	+	+	+	+	+	+	+
H.11 ホルトノキ(モガシ)	+	+	+	+			+					
H.12 ホウロクイチゴ	+		+	+								
H.13 エダウチチヂミザサ	+	+	+	+	+	+	+	+	+2	+		+
H.14 ヒメユズリハ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.15 リュウキュウテイカカズラ					+	+		+	+	+	+	+
H.16 イヌビワ		+	+	+	+	+		+			+	+
H.17 シマイズセンリョウ												
H.18 コバナヒメハギ												
H.19 アオノクマタケラン												
H.20 シロダモ	+	+	+	+	+	+	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2
H.21 オオムラサキシキブ			+	+	+	+						
H.22 アメリカハマグルマ			+	+	+	+	+	+	+	+	+2	+2
H.23 ツボクサ	+	+	+	+			+			+	+	
H.24 リュウキュウバライチゴ												
H.25 コンロンカ			+				+	+				+
H.26 ヤマグワ			+	+								
H.27 シラタマカズラ												
H.28 ホソバムクイヌビワ							1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1
H.29 スダジイ(イタジイ)												
H.30 リュウキュウイチゴ												

注1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーペット状に分布, 4: カーペットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注2) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-40(5) 無障害物帯形成地の植生調査結果 (N-4.1 南側)

N-4.1 無障害物帯形成地	南側				南側		南側				南側	
	H26年度				H27年度		H29年度				H30年度	
	6/4	8/30	11/14	1/27	6/10	9/4	6/2	9/1	11/29	1/30	5/8	7/26
調査年月日												
海拔 (m)	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176
方位	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE
傾斜角度 (°)	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
調査区面積 (m ²)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層(H)の高さ (m)	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.6	1.6
草本層(H)の植被率 (%)	100	100	100	100	100	100	90	90	90	80	80	85
草本層(H)の出現数 (種)	19	19	22	21	20	20	21	20	18	16	19	22
出現種数 (種)	19	19	22	21	20	20	21	20	18	16	19	22
草本層(H)												
H. 31 コバンモチ	+	+	+	+	+	+	+	+	+			
H. 32 ナガバハリフタバ												
H. 33 オニタビラコ												
H. 34 カタバミ												
H. 35 ヘクソカズラ		+			+	+	+	+	+			+
H. 36 チガヤ												
H. 37 シシアクチ	+	+	+	+								
H. 38 イスノキ												
H. 39 リュウキュウマノスズクサ					+	+						
H. 40 エゴノキ												
H. 41 ヒラミレモン												
H. 42 リュウキュウマツ								+				
H. 43 ケホシダ												
H. 44 シバ												
H. 45 ナワシロイチゴ												
H. 46 ハゼノキ	+											
H. 47 ヤブニッケイ							+	2	+		+	+
H. 48 サキシマフヨウ												
H. 49 トキワカモメツル												
H. 50 フカノキ												
H. 51 インドシャリンバイ									+		+	+
H. 52 モクレイシ												
H. 53 シマサルナシ												
H. 54 トベラ												
H. 55 ハマクマツヅラ												
H. 56 ギーマ												
H. 57 ケテイカカズラ												
H. 58 ヤマモモ												
H. 59 タイワンアキグミ			+	+								
H. 60 カスマグサ												
H. 61 アキノゲシ												
H. 62 マンリョウ												
H. 63 クチナシ												
H. 64 ナカハラクロキ												
H. 65 キキョウラン												

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーペット状に分布, 4: カーペットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-40(6) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.1 南側)

調査年月日	N-4.1 無障害物帯形成地											
	南側				南側		南側				南側	
	H26年度				H27年度		H29年度				H30年度	
	6/4	8/30	11/14	1/27	6/10	9/4	6/2	9/1	11/29	1/30	5/8	7/26
海拔 (m)	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176
方位	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE
傾斜角度 (°)	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
調査区面積 (m ²)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層(H)の高さ (m)	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.6	1.6
草本層(H)の植被率 (%)	100	100	100	100	100	100	90	90	90	80	80	85
草本層(H)の出現数 (種)	19	19	22	21	20	20	21	20	18	16	19	22
出現種数 (種)	19	19	22	21	20	20	21	20	18	16	19	22
草本層(H)												
H. 66 コブナグサ												
H. 67 												
H. 68 ヤハズソウ											+	+
H. 69 ノゲシ												
H. 70 ギョウギシバ												
H. 71 リュウキュウモチ												
H. 72 ヒメアブラスキ												
H. 73 ハナガサノキ												
H. 74 カクレミノ												
H. 75 マルバダケハギ												
H. 76 シバヤブニッケイ												+
H. 77 オオアレチノギク												
H. 78 コヤブタバコ												
H. 79 ツボミオオバコ												
H. 80 コナスビ												
H. 81 												
H. 82 ソメモノカズラ												
H. 83 リュウキュウボタンヅル												
H. 84 ナンバンギセル												
H. 85 クロミノオキナワズメウリ												
H. 86 ゴンズイ												
H. 87 ササクサ												
H. 88 モクタチバナ												
H. 89 アカメイスビワ												
H. 90 タイミンタチバナ								+				
H. 91 ヒメイタビ								+				
H. 92 キバナニワゼキショウ												
H. 93 コバノヨツバムグラ												
H. 94 タカサゴコウゾリナ												
H. 95 アメリカフウロ												
H. 96 イヌムギ												
H. 97 ヒメアオスゲ(ミヤマスゲ)												
H. 98 キツネノボタン												

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーペット状に分布, 4: カーペットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-41(1) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.1 西側)

N-4.1 無障害物帯形成地	西側			西側				西側			
	H23年度			H24年度				H25年度			
	6/10	9/27	1/10	5/30	9/27	11/13	1/21	4/24	9/26	11/15	1/17
調査年月日											
海拔 (m)	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175
方位	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W
傾斜角度 (°)	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
調査区面積 (m ²)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層(H)の高さ (m)	0.3	1.0	1.0	1.1	0.5	-	-	-	0.2	0.2	0.2
草本層(H)の植被率 (%)	35	50	85	95	20	-	-	-	90	100	100
草本層(H)の出現数 (種)	22	25	17	28	8	-	-	-	7	10	9
出現種数 (種)	22	25	17	28	8	-	-	-	7	10	9
低木層(S)											
S.1 タブノキ											
S.2 ナカハラクロキ											
S.3 ヒメユズリハ											
S.4 ヤマモモ											
草本層(H)											
H.1 ホシダ	1・2	1・2	1・2	1・2	++					+	+
H.2 ハイシロノセンダングサ	+	+	+	+	+				+	+	+
H.3 ススキ	+	1・2	43	4・4	2・3						
H.4 コゴメスゲ		++	++	++	+						
H.5 ギンゴウカン(ギンネム)	+	+	++	++	+						
H.6 アカメガシワ	++	1・2	1・2	1・2	+						
H.7 リュウキュウチク	++	++	++	++							
H.8 カキバカンコノキ											
H.9 タブノキ	+	+	+	+							
H.10 オキナワサルトリイバラ	+	+	+	+							
H.11 ホルトノキ(モガシ)	+	+	+	+							
H.12 ホウロクイチゴ	+	+		+	+						
H.13 エダウチチヂミザサ											
H.14 ヒメユズリハ				+							
H.15 リュウキュウテイカズラ		+		+							
H.16 イヌビワ	+		+	+							
H.17 シマイズセンリョウ	+	+		+							
H.18 コバナヒメハギ	+	+	+								
H.19 アオノクマタケラン	+		+	+							
H.20 シロダモ											
H.21 オオムラサキシキブ			+	+							
H.22 アメリカハマグルマ									+	+	+
H.23 ツボクサ		+		+					+	+	+
H.24 リュウキュウバライチゴ		+								+	
H.25 コンロンカ	+	+		+							
H.26 ヤマグワ											
H.27 シラタマカズラ		+	+	+							
H.28 ホソバムクイヌビワ			+	+	+						
H.29 スダジイ(イタジイ)		+									
H.30 リュウキュウイチゴ											

注1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注2) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-41(2) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.1 西側)

N-4.1 無障害物帯形成地	西側			西側				西側			
	H23年度			H24年度				H25年度			
	6/10	9/27	1/10	5/30	9/27	11/13	1/21	4/24	9/26	11/15	1/17
調査年月日											
海拔 (m)	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175
方位	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W
傾斜角度 (°)	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
調査区面積 (m ²)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層(H)の高さ (m)	0.3	1.0	1.0	1.1	0.5	-	-	-	0.2	0.2	0.2
草本層(H)の植被率 (%)	35	50	85	95	20	-	-	-	90	100	100
草本層(H)の出現数 (種)	22	25	17	28	8	-	-	-	7	10	9
出現種数 (種)	22	25	17	28	8	-	-	-	7	10	9
草本層(H)											
H. 31 コバンモチ				+							
H. 32 ナガバハリフタバ									+	+	+
H. 33 オニタビラコ	+										
H. 34 カタバミ									+	+	+
H. 35 ヘクソカズラ				+							
H. 36 チガヤ											
H. 37 シシアクチ											
H. 38 イスノキ											
H. 39 リュウキュウウマノズクサ											
H. 40 エゴノキ											
H. 41 ヒラミレモン											
H. 42 リュウキュウマツ	+	+									
H. 43 ケホシダ		+									
H. 44 シバ									5・5	5・5	5・5
H. 45 ナワシロイチゴ											
H. 46 ハゼノキ		+		+							
H. 47 ヤブニッケイ											
H. 48 サキシマフヨウ	+			+							
H. 49 トキワカモメツル											
H. 50 フカノキ		+	+	+							
H. 51 インドシャリンバイ											
H. 52 モクレイシ	+										
H. 53 シマサルナシ				+							
H. 54 トベラ		+	+								
H. 55 ハマクマツツラ				+					+	+	+
H. 56 ギーマ											
H. 57 ケテイカカズラ											
H. 58 ヤマモモ		+									
H. 59 タイワンアキグミ											
H. 60 カスマグサ										+	+
H. 61 アキノゲシ											
H. 62 マンリョウ											
H. 63 クチナシ											
H. 64 ナカハラクロキ											
H. 65 キキョウラン											

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーペット状に分布, 4: カーペットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-41(3) 無障害物帯形成地の植生調査結果 (N-4.1 西側)

調査年月日	H23年度			H24年度				H25年度			
	6/10	9/27	1/10	5/30	9/27	11/13	1/21	4/24	9/26	11/15	1/17
	調査年月日	H23年度			H24年度				H25年度		
調査区面積 (m ²)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層(H)の高さ (m)	0.3	1.0	1.0	1.1	0.5	-	-	-	0.2	0.2	0.2
草本層(H)の植被率 (%)	35	50	85	95	20	-	-	-	90	100	100
草本層(H)の出現数 (種)	22	25	17	28	8	-	-	-	7	10	9
出現種数 (種)	22	25	17	28	8	-	-	-	7	10	9
草本層(H)											
H. 66 コブナグサ											
H. 67 											
H. 68 ヤハズソウ											
H. 69 ノゲシ											
H. 70 ギョウギシバ											
H. 71 リュウキュウモチ											
H. 72 ヒメアブラスキ											
H. 73 ハナガサノキ											
H. 74 カクレミノ											
H. 75 マルバダケハギ											
H. 76 シバヤブニッケイ											
H. 77 オオアレチノギク											
H. 78 コヤブタバコ											
H. 79 ツボミオオバコ											
H. 80 コナスビ											
H. 81 											
H. 82 ソメモノカズラ											
H. 83 リュウキュウボタンヅル											
H. 84 ナンバンギセル											
H. 85 クロミノオキナワスズメウリ											
H. 86 ゴンズイ											
H. 87 ササクサ											
H. 88 モクタチバナ											
H. 89 アカメイヌビワ											
H. 90 タイミンタチバナ											
H. 91 ヒメイタビ											
H. 92 キバナニワゼキショウ	+										
H. 93 コバノヨツバムグラ	+										
H. 94 タカサゴコウゾリナ	+										
H. 95 アメリカフウロ											
H. 96 イヌムギ											
H. 97 ヒメアオスゲ(ミヤマスゲ)											
H. 98 キツネノボタン											

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-41(4) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.1 西側)

N-4.1 無障害物帯形成地	西側				西側		西側				西側		出現回数
	H26年度				H27年度		H29年度				H30年度		
	6/4	8/30	11/14	1/27	6/10	9/4	6/2	9/1	11/29	1/30	5/8	7/26	
調査年月日													
海拔 (m)	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	
方位	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	
傾斜角度 (°)	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	
調査区面積 (m ²)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
草本層(H)の高さ (m)	0.6	0.7	0.5	0.2	0.5	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	1.0	
草本層(H)の植被率 (%)	100	100	100	100	100	100	95	100	100	100	100	100	
草本層(H)の出現数 (種)	9	7	10	10	9	6	13	9	8	6	7	6	
出現種数 (種)	9	7	10	10	9	6	13	9	8	6	7	6	
低木層(S)													
S.1 タブノキ													1
S.2 ナカハラクロキ													1
S.3 ヒメユズリハ													1
S.4 ヤマモモ													1
草本層(H)													
H.1 ホシダ	+	+	+	+	+	+	+	+			+	+	84
H.2 ハイシロノセンダングサ	1・2	2・2	+2	1・2	3・3	3・3	2・3	2・3	2・3	2・3	2・2	2・2	81
H.3 ススキ					+		+2	1・2	1・2	1・2	1・2	2・2	77
H.4 コゴメスゲ								+	+2	+	+		74
H.5 ギンゴウカン(ギンネム)							+	+	+	+	+		68
H.6 アカメガシワ													67
H.7 リュウキュウチク													56
H.8 カキバカンコノキ													56
H.9 タブノキ													52
H.10 オキナワサルトリイバラ													50
H.11 ホルトノキ(モガシ)													50
H.12 ホウロクイチゴ													49
H.13 エダウチチヂミザサ													45
H.14 ヒメユズリハ													44
H.15 リュウキュウテイカカズラ													40
H.16 イヌビワ													40
H.17 シマイズセンリョウ													39
H.18 コバナヒメハギ													38
H.19 アオノクマタケラン													35
H.20 シロダモ													34
H.21 オオムラサキシキブ													32
H.22 アメリカハマグルマ	+2	+2	+	+	+2		1・2	1・2	+2	+2	+2	1・2	31
H.23 ツボクサ	+2	+2	+	+2	+2								30
H.24 リュウキュウバライチゴ							+		+				26
H.25 コンロンカ													26
H.26 ヤマグワ													21
H.27 シラタマカズラ													21
H.28 ホソバムクイヌビワ													20
H.29 スダジイ(イタジイ)													19
H.30 リュウキュウイチゴ												+	18

注1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーペット状に分布, 4: カーペットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注2) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-41(5) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.1 西側)

調査年月日	N-4.1 無障害物帯形成地												出現回数		
	西側				西側				西側					西側	
	H26年度				H27年度				H29年度					H30年度	
	6/4	8/30	11/14	1/27	6/10	9/4	6/2	9/1	11/29	1/30	5/8	7/26			
海拔 (m)	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175			
方位	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W			
傾斜角度 (°)	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30			
調査区面積 (m ²)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5			
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
草本層(H)の高さ (m)	0.6	0.7	0.5	0.2	0.5	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	1.0			
草本層(H)の植被率 (%)	100	100	100	100	100	100	95	100	100	100	100	100			
草本層(H)の出現数 (種)	9	7	10	10	9	6	13	9	8	6	7	6			
出現種数 (種)	9	7	10	10	9	6	13	9	8	6	7	6			
草本層(H)															
H.31 コバンモチ													17		
H.32 ナガバハリフタバ	+	+	+	+	+	+	+						15		
H.33 オニタビラコ													14		
H.34 カタバミ													13		
H.35 ヘクソカズラ													13		
H.36 チガヤ			+	+	+	+	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	13		
H.37 シシアクチ													12		
H.38 イスノキ													12		
H.39 リュウキュウマノスズクサ													12		
H.40 エゴノキ													11		
H.41 ヒラミレモン													9		
H.42 リュウキュウマツ													9		
H.43 ケホシダ													9		
H.44 シバ	5・5	5・5	5・5	5・5	4・4	4・4							9		
H.45 ナワシロイチゴ													8		
H.46 ハゼノキ													8		
H.47 ヤブニッケイ													8		
H.48 サキシマフヨウ													7		
H.49 トキワカモメヅル													7		
H.50 フカノキ													7		
H.51 インドシャリンバイ													7		
H.52 モクレイシ													6		
H.53 シマサルナシ													6		
H.54 トベラ													6		
H.55 ハマクマツツラ	+												6		
H.56 ギーマ													5		
H.57 ケテイカズラ													4		
H.58 ヤマモモ													4		
H.59 タイワンアキグミ													4		
H.60 カスマグサ			+2	+2									4		
H.61 アキノゲシ				+	+	+		+					4		
H.62 マンリョウ													3		
H.63 クチナシ													3		
H.64 ナカハラクロキ													3		
H.65 キキョウラン													3		

注1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布
 注2) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-41(6) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.1 西側)

調査年月日	N-4.1 無障害物帯形成地												出現回数				
	西側				西側				西側					西側			
	H26年度		H27年度		H29年度		H30年度		H26年度		H27年度			H29年度		H30年度	
	6/4	8/30	11/14	1/27	6/10	9/4	6/2	9/1	11/29	1/30	5/8	7/26					
海拔 (m)	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175					
方位	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W					
傾斜角度 (°)	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30					
調査区面積 (m ²)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5					
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
草本層(H)の高さ (m)	0.6	0.7	0.5	0.2	0.5	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	1.0					
草本層(H)の植被率 (%)	100	100	100	100	100	100	95	100	100	100	100	100					
草本層(H)の出現数 (種)	9	7	10	10	9	6	13	9	8	6	7	6					
出現種数 (種)	9	7	10	10	9	6	13	9	8	6	7	6					
草本層(H)																	
H. 66 コブナグサ																3	
H. 67 																3	
H. 68 ヤハズソウ								+2								3	
H. 69 ノゲシ	+	+	+													3	
H. 70 ギョウギシバ			+	+			+									3	
H. 71 リュウキュウモチ																2	
H. 72 ヒメアブラススキ																2	
H. 73 ハナガサノキ																2	
H. 74 カクレミノ																2	
H. 75 マルバダケハギ																2	
H. 76 シバヤブニッケイ																2	
H. 77 オオアレチノギク								+		+2						2	
H. 78 コヤブタバコ																1	
H. 79 ツボミオオバコ																1	
H. 80 コナスビ																1	
H. 81 																1	
H. 82 ソメモノカズラ																1	
H. 83 リュウキュウボタンヅル																1	
H. 84 ナンバンギセル																1	
H. 85 クロミノオキナワズズメウリ																1	
H. 86 ゴンズイ																1	
H. 87 ササクサ																1	
H. 88 モクタチバナ																1	
H. 89 アカメイヌビワ																1	
H. 90 タイミンタチバナ																1	
H. 91 ヒメイタビ																1	
H. 92 キバナニワゼキショウ																1	
H. 93 コバノヨツバムグラ																1	
H. 94 タカサゴコウゾリナ																1	
H. 95 アメリカフウロ	+															1	
H. 96 イヌムギ								+								1	
H. 97 ヒメアオスゲ(ミヤマスゲ)								+								1	
H. 98 キツネノボタン									+							1	

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

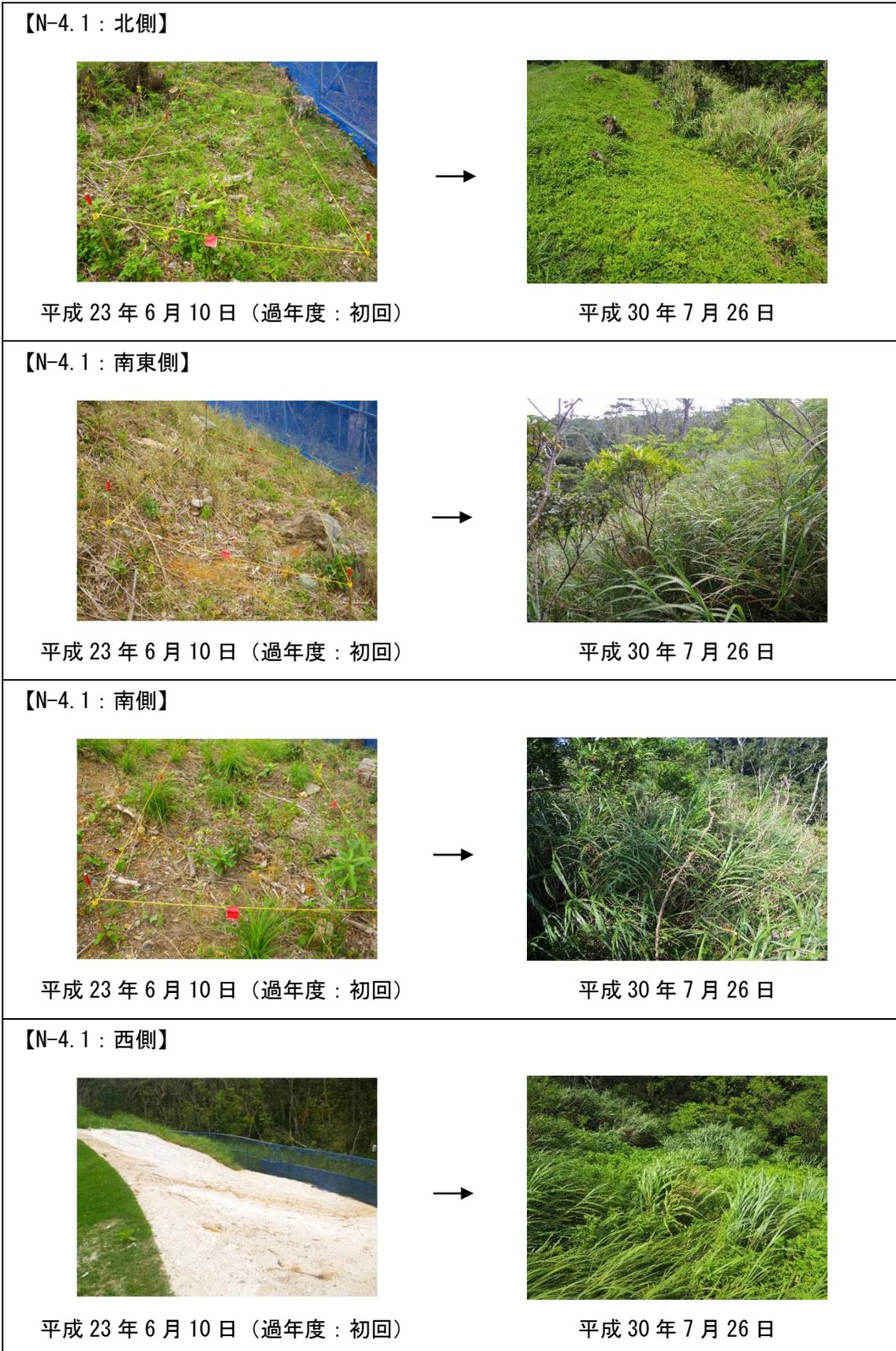


図 7.1.3-35 無障害物帯形成地の植生状況(N-4.1)

b) N-4.2

(a) マント群落・ソデ群落の生育状況

N-4.2 のマント群落・ソデ群落の生育・形成状況を表 7.1.3-42～表 7.1.3-43、図 7.1.3-36 に示した。

無障害物帯縁のマント群落・ソデ群落の過年度からの植生の推移をみると、既存のマント群落・ソデ群落が存在する東側、リュウキュウチクの植栽を実施した西側ともに、評価図書に示す環境保全措置のとおり、マント群落・ソデ群落の形成が確認されていた。以下に各調査地点の植生状況について整理した。

東側は、工事前からリュウキュウチクが生育しており、既存のマント群落・ソデ群落が形成されている。過年度の調査(平成 29 年度)では、亜高木層が高さ 3.5～4m、植被率 15～25%、出現種 3 種、低木層が高さ 2.5m、植被率 80～90%、出現種 7～9 種、草本層が高さ 1.0m、植被率 40～50%、出現種 17～19 種であった。今年度調査においては、亜高木層が高さ 4m、植被率 25%、出現種 3 種、低木層が高さ 2.5m、植被率 90%、出現種 8～9 種、草本層が高さ 1.0m、植被率 50%、出現種 16～17 種であった。過年度と比較すると、引き続き低木層で草本類のリュウキュウチクが優占するほか、木本類のスダジイも高い被度を示した。草本層についても、木本類のスダジイが高い被度を示した。

西側は、リュウキュウチク植栽地(平成 25 年 11 月中旬に移植)で過年度の調査(平成 29 年度)では、低木層が高さ 2.5m、植被率 20～25%、出現種 3 種、草本層が高さ 1.0～1.2m、植被率 50～60%、出現種 21～25 種であった。今年度調査においては、低木層が高さ 2.0m、植被率 40～45%、出現種 7～11 種、草本層が高さ 0.5～0.8m、植被率 65～70%、出現種 23～27 種であった。過年度と比較すると、低木層については草本類のススキが優占したほか、草本層については、つる性のリュウキュウテイカカズラやシダ植物のホラシノブが増え、低木層、草本層ともに植被率の増加が見られ、マント群落・ソデ群落が形成されていた。

表 7.1.3-42(1) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.2:東側)

調査年月日	N-4.2 マント群落・ソデ群落形成地													
	東側		東側				東側		東側				東側	
	H25年度		H26年度				H27年度		H29年度				H30年度	
	11/30	1/28	6/5	8/28	11/12	1/27	6/10	9/3	6/3	9/1	11/30	1/30	5/8	7/25
海拔 (m)	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169
方位	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
傾斜角度 (°)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
調査区面積 (m ²)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
亜高木層(T2)の高さ (m)	3.3	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	4.0	4.0	4.0
亜高木層(T2)の植被率 (%)	10	10	10	10	10	10	10	10	15	15	25	25	25	25
亜高木層(T2)の出現数 (種)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
低木層(S)の高さ (m)	2.4	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5
低木層(S)の植被率 (%)	80	80	80	80	80	80	80	80	80	90	90	90	90	90
低木層(S)の出現数 (種)	3	3	3	3	4	4	5	6	7	8	8	9	9	8
草本層(H)の高さ (m)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
草本層(H)の植被率 (%)	25	25	30	30	30	40	40	40	40	50	50	50	50	50
草本層(H)の出現数 (種)	13	14	15	17	17	17	19	21	17	18	19	17	17	16
出現種数 (種)	17	16	17	19	20	19	21	23	20	20	21	20	21	20
亜高木層(T2)														
T2.1 ホルトノキ(モガシ)	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・2	1・2	2・2	2・2	2・2	2・2
T2.2 リュウキュウチク	++	++	++	++	++	++	++	++	++	++	++	++	++	++
T2.3 トベラ	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1						
T2.4 シロダモ									1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1
低木層(S)														
S.1 リュウキュウチク	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5
S.2 ササバサンキライ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
S.3 リュウキュウチク (植栽)														
S.4 ホルトノキ(モガシ)	+	+	+	+	+	+	+	+						
S.5 トキワカメツル							+	+	+	+	+	+	+	+
S.6 リュウキュウテイカズラ					+			+	+	+	+	+	+	+
S.7 スダジイ(イタジイ)								+	1・2	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2
S.8 インドシャリンバイ														
S.9 カクレミノ									+	+	+	+	+	+
S.10 ヒメユズリハ									+	+	+	+	+	+
S.11 ススキ														
S.12 ツルグミ										+	+	+	+	+
S.13 シロダモ						+	+							
S.14 ムベ												+	+	
S.15 アカメガシワ														
S.16 タブノキ														
S.17 ハゼノキ														
S.18 シバヤブニッケイ														
S.19 イヌビワ														
S.20 ヤマグワ														
S.21 ゴンズイ														
草本層(H)														
H.1 シラタマカズラ	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	++	++	++	++	++
H.2 ササクサ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.3 タブノキ	+	+	+	+	+		+	+	+	+	+	+	+	+
H.4 リュウキュウチク		+	+	+	+	+	+	+	+	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2
H.5 トキワカメツル	+		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.6 リュウキュウテイカズラ							+	+	+	+	+	+	+	+
H.7 ケテイカズラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.8 オキナワサルトリイバラ		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.9 アカメガシワ					+	+	+	+						
H.10 リュウキュウイチゴ						+	+	+	+					+

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: カーペット状に分布, 4: カーペットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布
 注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-42(2) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.2:東側)

調査年月日	N-4.2 マント群落・ソデ群落形成地													
	東側		東側				東側		東側				東側	
	H25年度		H26年度				H27年度		H29年度				H30年度	
	11/30	1/28	6/5	8/28	11/12	1/27	6/10	9/3	6/3	9/1	11/30	1/30	5/8	7/25
海拔 (m)	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169
方位	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
傾斜角度 (°)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
調査区面積 (m ²)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
亜高木層(T2)の高さ (m)	3.3	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	4.0	4.0	4.0
亜高木層(T2)の植被率 (%)	10	10	10	10	10	10	10	10	15	15	25	25	25	25
亜高木層(T2)の出現数 (種)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
低木層(S)の高さ (m)	2.4	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5
低木層(S)の植被率 (%)	80	80	80	80	80	80	80	80	80	90	90	90	90	90
低木層(S)の出現数 (種)	3	3	3	3	4	4	5	6	7	8	8	9	9	8
草本層(H)の高さ (m)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
草本層(H)の植被率 (%)	25	25	30	30	30	40	40	40	40	50	50	50	50	50
草本層(H)の出現数 (種)	13	14	15	17	17	17	19	21	17	18	19	17	17	16
出現種数 (種)	17	16	17	19	20	19	21	23	20	20	21	20	21	20
草本層(H)														
H. 11 ヒメコズリハ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 12 オオバチヂミザサ				+	+	+		+	+	+	+	+	+	+
H. 13 アオノクマタケラン	+	+	+	+	+	+	+	+			+	+	+	+
H. 14 シバヤブニッケイ										+				
H. 15 スダジイ(イタジイ)	2・3	2・3	3・3	3・3	3・3	3・3	3・3	3・3	3・3	3・3	3・3	3・3	3・3	3・3
H. 16 イタビカズラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 17 トベラ		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 18 ゴンズイ									+	+				+
H. 19 ホシダ														
H. 20 コシダ														
H. 21 ツルグミ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+		
H. 22 シロダモ	+	+	+	+	+	+	+	+		+	+	+	+	
H. 23 コゴメスゲ														
H. 24 リュウキュウマツ														
H. 25 ホラシノブ														
H. 26 エゴノキ														
H. 27 カクレミノ	+	+	+	+	+	+	+	+	+					
H. 28 ハゼノキ											+			
H. 29 オオバギ														
H. 30 イヌビワ														
H. 31 ハナガサノキ														
H. 32 ホルトノキ(モガシ)														
H. 33 ススキ														
H. 34 エダウチヂミザサ										+	+			
H. 35 コバナヒメハギ														
H. 36 ナガバカニクサ														
H. 37 ハイシロノセンダングサ														
H. 38 ケホシダ														
H. 39 ヤマグワ														
H. 40 クロミノオキナワズメウリ				+										
H. 41 ササバサンキライ										+	+	+	+	+
H. 42 オオバイヌビワ														
H. 43 サカキカズラ														
H. 44 リュウキュウモチ														
H. 45 インドシャリンバイ														
H. 46 リュウキュウバライチゴ														

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーペット状に分布, 4: カーペットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-42(3) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.2:東側)

調査年月日	N-4.2 マント群落・ソデ群落形成地													
	東側		東側				東側		東側				東側	
	H25年度		H26年度				H27年度		H29年度				H30年度	
	11/30	1/28	6/5	8/28	11/12	1/27	6/10	9/3	6/3	9/1	11/30	1/30	5/8	7/25
海拔 (m)	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169
方位	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
傾斜角度 (°)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
調査区面積 (m ²)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
亜高木層(T2)の高さ (m)	3.3	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	4.0	4.0	4.0
亜高木層(T2)の植被率 (%)	10	10	10	10	10	10	10	10	15	15	25	25	25	25
亜高木層(T2)の出現数 (種)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
低木層(S)の高さ (m)	2.4	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5
低木層(S)の植被率 (%)	80	80	80	80	80	80	80	80	80	90	90	90	90	90
低木層(S)の出現数 (種)	3	3	3	3	4	4	5	6	7	8	8	9	9	8
草本層(H)の高さ (m)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
草本層(H)の植被率 (%)	25	25	30	30	30	40	40	40	40	50	50	50	50	50
草本層(H)の出現数 (種)	13	14	15	17	17	17	19	21	17	18	19	17	17	16
出現種数 (種)	17	16	17	19	20	19	21	23	20	20	21	20	21	20
草本層(H)														
H. 47 キキョウラン														
H. 48 ヤハズソウ														
H. 49 ムベ	+													
H. 50 ホウロクイチゴ							+							
H. 51 ヒメイトビ								+						
H. 52 ギョクシンカ														
H. 53 カキバカンコノキ														
H. 54 オニタビラコ														
H. 55 タイミンタチバナ														
H. 56 リュウキュウマノスズクサ														

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーペット状に分布, 4: カーペットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布
注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-43(1) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.2:西側)

調査年月日	N-4.2 マント群落・ソデ群落形成地														出現回数
	西側		西側				西側		西側				西側		
	H25年度		H26年度				H27年度		H29年度				H30年度		
	11/30	1/28	6/5	8/28	11/12	1/27	6/10	9/3	6/3	9/1	11/30	1/30	5/8	7/25	
海拔 (m)	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	
方位	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	
傾斜角度 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
調査区面積 (m ²)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
亜高木層(T2)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
亜高木層(T2)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
亜高木層(T2)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
低木層(S)の高さ (m)	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0
低木層(S)の植被率 (%)	40	40	40	40	40	40	40	40	20	20	25	25	40	45	
低木層(S)の出現数 (種)	2	2	3	2	2	2	2	1	2	2	2	2	6	10	
草本層(H)の高さ (m)	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.8	1.0	1.2	1.2	1.2	0.8	0.5	
草本層(H)の植被率 (%)	10	10	10	20	40	45	45	45	50	50	60	60	65	70	
草本層(H)の出現数 (種)	15	17	22	30	28	27	28	32	21	21	25	22	23	27	
出現種数 (種)	17	19	23	30	29	28	29	32	21	21	25	22	25	31	
亜高木層(T2)															
T2.1 ホルトノキ(モガシ)															14
T2.2 リュウキュウチク															14
T2.3 トベラ															8
T2.4 シロダモ															6
低木層(S)															
S.1 リュウキュウチク	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	28
S.2 ササバサンキライ															14
S.3 リュウキュウチク (植栽)	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	14
S.4 ホルトノキ(モガシ)													1・1	1・1	10
S.5 トキワカモメツル			+												9
S.6 リュウキュウテイカカズラ															8
S.7 スダジイ(イタジイ)															7
S.8 インドシャリンバイ	+	+	+	+	+	+	+								7
S.9 カクレミノ															6
S.10 ヒメユズリハ															6
S.11 ススキ									+	+2	1・2	1・2	3・3	3・3	6
S.12 ツルグミ															5
S.13 シロダモ															2
S.14 ムベ															2
S.15 アカメガシワ													1・1	1・1	2
S.16 タブノキ													+	+	2
S.17 ハゼノキ													+	+	2
S.18 シバヤブニッケイ														+	1
S.19 イヌビワ														+	1
S.20 ヤマゲワ														+	1
S.21 ゴンズイ														+	1
草本層(H)															
H.1 シラタマカズラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+2	+	+	+	28
H.2 ササクサ	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2			+	+		+	25
H.3 タブノキ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	25
H.4 リュウキュウチク			+	+	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	25
H.5 トキワカモメツル	+	+	+	+	+	+	+	+			+	+	+		24
H.6 リュウキュウテイカカズラ	+	+	+	+	+	+	+2	+2	+	+	+2	+2	1・2	1・2	22
H.7 ケテイカカズラ				+	+	+	+							+	20
H.8 オキナワサルトリイバラ	+	+	+							+	+		+	+	20
H.9 アカメガシワ	+	+	+	+	+2	+2	+2	+2	+2	+2	1・2	+2	+2	+2	18
H.10 リュウキュウイチゴ			+	+	1・1	1・1	+2	+2	+	+	+	+	+	+	17

注1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布
 注2) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-43(2) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.2:西側)

調査年月日	N-4.2 マント群落・ソデ群落形成地														出現回数					
	西側		西側				西側		西側				西側							
	H25年度	H26年度	H27年度	H29年度	H30年度	11/30	1/28	6/5	8/28	11/12	1/27	6/10	9/3	6/3		9/1	11/30	1/30	5/8	7/25
海拔 (m)	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167
方位	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W
傾斜角度 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
調査区面積 (m ²)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
亜高木層(T2)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層(T2)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層(T2)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の高さ (m)	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0
低木層(S)の植被率 (%)	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	20	20	25	25	40	45	45	45	45
低木層(S)の出現数 (種)	2	2	3	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	6	10	10	10	10
草本層(H)の高さ (m)	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.8	1.0	1.2	1.2	1.2	1.2	0.8	0.8	0.5	0.5	0.5	0.5
草本層(H)の植被率 (%)	10	10	10	20	40	45	45	45	50	50	60	60	60	65	70	70	70	70	70	70
草本層(H)の出現数 (種)	15	17	22	30	28	27	28	32	21	21	25	22	23	27	27	27	27	27	27	27
出現種数 (種)	17	19	23	30	29	28	29	32	21	21	25	22	25	31	31	31	31	31	31	31
草本層(H)																				
H. 11 ヒメユズリハ			+																+	16
H. 12 オオバチヂミザサ			+	+	+	+	+	+												16
H. 13 アオノクマタケラン		+	+	+																15
H. 14 シバヤブニッケイ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	15
H. 15 スダジイ(イタジイ)																				14
H. 16 イタビカズラ																				14
H. 17 トベラ																			+	14
H. 18 ゴンズイ			+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	14
H. 19 ホシダ	+	+	+	+	1・2	2・2	2・2	3・3	3・3	3・3	3・3	3・3	3・3	3・3	3・3	3・3	3・3	3・3	3・3	14
H. 20 コシダ	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	13
H. 21 ツルグミ																				12
H. 22 シロダモ																				12
H. 23 コゴメスゲ			+	+	+	+	+	+	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	12
H. 24 リュウキュウマツ			+	+	+		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	11
H. 25 ホラシノブ				+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	1・2	1・2	1・2	1・2	11
H. 26 エゴノキ			+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+					10
H. 27 カクレミノ																				9
H. 28 ハゼノキ				+	1・1	+	+	+	+	+	+	+	+	+						9
H. 29 オオバギ	+	+		+	+	+	+	+											+	9
H. 30 イヌビワ		+	+	+	+			+	+	+						+	+	+	+	9
H. 31 ハナガサノキ			+	+	+	+	+	+							+	+	+	+	+	9
H. 32 ホルトノキ(モガシ)				+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+					9
H. 33 ススキ						+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	9
H. 34 エダウチヂミザサ	+	+2		+		+								+	+					8
H. 35 コバナヒメハギ				+	+	+	+	+						+	+				+	8
H. 36 ナガバカニクサ				+	+	+	+	+										+	+	7
H. 37 ハイシロノセンダングサ									+	+	+	+	+	+	1・2	+2	+2	+2	+2	7
H. 38 ケホシダ			+	+	+	+	+	+												6
H. 39 ヤマグワ							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	6
H. 40 クロミノオキナワスズメウリ		+	+	+	+															5
H. 41 ササバサンキライ																				5
H. 42 オオバイヌビワ					+			+											+	3
H. 43 サカキカズラ	+	+																		2
H. 44 リュウキュウモチ	+	+																		2
H. 45 インドシャリンバイ				+									+							2

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーペット状に分布, 4: カーペットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-43(3) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.2:西側)

調査年月日	N-4.2 マント群落・ソデ群落形成地														出現回数
	西側		西側				西側		西側				西側		
	H25年度		H26年度				H27年度		H29年度				H30年度		
	11/30	1/28	6/5	8/28	11/12	1/27	6/10	9/3	6/3	9/1	11/30	1/30	5/8	7/25	
海拔 (m)	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	
方位	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	
傾斜角度 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
調査区面積 (m ²)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
亜高木層(T2)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
亜高木層(T2)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
亜高木層(T2)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
低木層(S)の高さ (m)	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	
低木層(S)の植被率 (%)	40	40	40	40	40	40	40	40	20	20	25	25	40	45	
低木層(S)の出現数 (種)	2	2	3	2	2	2	2	1	2	2	2	2	6	10	
草本層(H)の高さ (m)	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.8	1.0	1.2	1.2	1.2	0.8	0.5	
草本層(H)の植被率 (%)	10	10	10	20	40	45	45	45	50	50	60	60	65	70	
草本層(H)の出現数 (種)	15	17	22	30	28	27	28	32	21	21	25	22	23	27	
出現種数 (種)	17	19	23	30	29	28	29	32	21	21	25	22	25	31	
草本層(H)															
H.46 リュウキュウバライチゴ						+					+				2
H.47 キキョウラン									+						2
H.48 ヤハズソウ													+	+	2
H.49 ムベ															1
H.50 ホウロクイチゴ															1
H.51 ヒメイタビ															1
H.52 ギョクシンカ	+														1
H.53 カキバカンコノキ							+								1
H.54 オニタビラコ								+							1
H.55 タイミンタチバナ								+							1
H.56 リュウキュウマノズクサ													+		1

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーペット状に分布, 4: カーペットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布
注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

【N-4.2 : 東側】



平成 25 年 11 月 30 日 (過年度 : 初回)



平成 30 年 7 月 25 日

【N-4.2 : 西側】



平成 25 年 11 月 30 日 (過年度 : 初回)



平成 30 年 7 月 25 日

図 7.1.3-36 マント群落・ソデ群落の植生状況(N-4.2)

(b) 無障害物帯形成地の植生

N-4.2 の無障害物帯の生育・形成状況を表 7.1.3-44～表 7.1.3-48、図 7.1.3-37 に示した。

無障害物帯縁の植生の推移をみると、無障害物帯は樹木の伐採が行われた後、盛土部分には早期緑化を目的とした張芝が行われたほか、その他の場所では、可能な限り既存の草本類を残したことから、無障害物帯に裸地は存在していない。平成 29 年度秋季調査時に西側においてイノシシによると思われる掘り返しが確認されたが、回復傾向である。評価図書においては、無障害物帯は早期緑化を行うこととしており、その環境保全措置を実施できたと考えられる。以下に各調査地点の植生状況について整理した。

北側は、平成 26 年度末に芝張りが完了した場所であり、過年度の調査(平成 29 年度)では、草丈 0.2m、植被率 70～90%、出現種 5～17 種であった。今年度調査においては、草丈 0.2～0.3m、植被率 70～80%、出現種 14～18 種であった。過年度と比較すると、植被率については大きな変化は無く植生の回復が確認された。

南側は、過年度の調査(平成 29 年度)では、草丈 0.2～0.3m、植被率 80～100%、出現種 9～15 種であった。今年度調査においては、草丈 0.1～0.2m、植被率 100%、出現種 15～16 種であった。過年度と比較すると、芝張りされたシバが優占し、植生の回復が確認された。

南東側は、過年度の調査(平成 29 年度)では、草本層に分化がみられ、第 1 草本層が高さ 1～2m、植被率 5～20%、出現種 1～2 種、第 2 草本層が高さ 0.3～0.5m、植被率 90～95%、出現種 8～14 種であった。今年度調査においては、草本層に分化が見られず、高さ 0.4～0.5m、植被率 90%、出現種 9～12 種であった。過年度と比較すると、草本層の植被率については大きな変化は無く、植生の回復が確認された。

東側は、樹木を伐採したものの、草本類を可能な限り残した場所であり、過年度の調査(平成 29 年度)では、第 1 草本層が高さ 3.0m、植被率 10～30%、出現種 3～4 種、第 2 草本層が高さ 1.5m、植被率 80～90%、出現種 24～26 種であった。今年度調査においては、第 1 草本層が高さ 3.0m、植被率 10%、出現種 4 種、第 2 草本層が高さ 1.5m、植被率 90%、出現種 24～26 種であった。過年度と比較すると、植被率については大きな変化は無く、植生の回復が確認された。

西側は、過年度の調査(平成 29 年度)では、草丈 0.4m、植被率 20～90%、出現種 5～16 種であった。今年度調査においては、草丈 0.4m、植被率 25～40%、出現種 8～15 種であった。過年度と比較すると、イノシシの掘り返しから回復傾向にあったものの、再度掘り返しが見られ植被率が低下していた。赤土等の流出跡等についての確認は無く、今後、植生は回復していくものと考えられた。

表 7.1.3-44(1) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.2 北側)

N-4.2 無障害物帯形成地	北側				北側		北側				北側	
	H26年度				H27年度		H29年度				H30年度	
	6/4	8/28	11/12	1/27	6/10	9/4	6/2	9/1	11/30	1/30	5/8	7/25
調査年月日												
海拔 (m)	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175
方位	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S
傾斜角度 (°)	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
草本層-1(H1)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層-1(H1)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層-1(H1)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層-2(H2)の高さ (m)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3
草本層-2(H2)の植被率 (%)	90	95	95	95	95	95	90	90	90	70	70	80
草本層-2(H2)の出現数 (種)	8	9	6	6	4	5	17	5	6	6	14	18
出現種数 (種)	8	9	6	6	4	5	17	5	6	6	14	18
草本層-1(H)												
H1.1 ホルトノキ(モガシ)												
H1.2 リュウキュウチク												
H1.3 アカメガシワ												
H1.4 タチスズメノヒエ												
H1.5 オキナワサルトリイバラ												
H1.6 ススキ												
H1.7 ギンゴウカン(ギンネム)												
H1.8 ヒメユズリハ												
H1.9 ハゼノキ												
H1.10 シマスズメノヒエ												
H1.11 セイタカアワダチソウ												
草本層-2(H)												
H2.1 シンバ	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	4・4	4・4	4・4	4・4	3・3	3・3
H2.2 ハイシロノセンダングサ						+	1・2	+2	1・2	1・2	2・2	3・3
H2.3 タチスズメノヒエ	+	+2	+	+2	+	+	+2	+2			+2	1・2
H2.4 ギンゴウカン(ギンネム)												
H2.5 チガヤ							+2	+2	1・2	1・2	2・2	3・3
H2.6 コバナヒメハギ		+	+	+			+					
H2.7 コゴメスゲ												
H2.8 ホシダ												
H2.9 アキノゲシ							+					
H2.10 イヌビワ												
H2.11 マルバダケハギ						+	1・1		1・2	+	+	+
H2.12 リュウキュウイチゴ												
H2.13 ヤハズソウ							5・5	5・5	3・4	+	+2	2・2
H2.14 ヒメジョオン							+					+
H2.15 コウライシンバ		1・2										+
H2.16 イワダレソウ												
H2.17 オニタビラコ							+					+
H2.18 アカメガシワ												
H2.19 オキナワサルトリイバラ												
H2.20 ヒメユズリハ												
H2.21 キキョウラン												
H2.22 シラタマカズラ												
H2.23 トベラ												
H2.24 ホルトノキ(モガシ)												
H2.25 リュウキュウチク												
H2.26 リュウキュウテイカカズラ												
H2.27 タブノキ												
H2.28 ホウロクイチゴ												
H2.29 リュウキュウマツ												+
H2.30 ナガバハリフタバ												

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-44(2) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.2 北側)

N-4.2 無障害物帯形成地	北側				北側		北側				北側	
	H26年度				H27年度		H29年度				H30年度	
	6/4	8/28	11/12	1/27	6/10	9/4	6/2	9/1	11/30	1/30	5/8	7/25
海拔 (m)	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175
方位	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S
傾斜角度 (°)	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
草本層-1(H1)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層-1(H1)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層-1(H1)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層-2(H2)の高さ (m)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3
草本層-2(H2)の植被率 (%)	90	95	95	95	95	95	90	90	90	70	70	80
草本層-2(H2)の出現数 (種)	8	9	6	6	4	5	17	5	6	6	14	18
出現種数 (種)	8	9	6	6	4	5	17	5	6	6	14	18
草本層-2(H)												
H2.31 ススキ												
H2.32 ケテイカカズラ												
H2.33 ヒメムカシヨモギ		+										
H2.34 ホウキギク			+	+			+					+
H2.35 スギナ												
H2.36 ハゼノキ												
H2.37 スダジイ(イタジイ)												
H2.38 アブラススキ									+	+	+	+
H2.39 カタバミ												
H2.40 セイタカアワダチソウ												
H2.41 オオバギ												
H2.42 ニシヨモギ	+	+	+	+	+	+					+	+
H2.43 メヒシバ	+											
H2.44 ハマスゲ												
H2.45 ウラジロカンコノキ												
H2.46 アゼガヤツリ												
H2.47 ヒメクグ												
H2.48 エダウチチヂミザサ												
H2.49 イタビカズラ												
H2.50 オオバチヂミザサ												
H2.51 カキバカンコノキ												
H2.52 アメリカホウライセンブリ							+					
H2.53 ツボクサ												
H2.54 シバヤブニッケイ												
H2.55 ヤマグワ												
H2.56 コメヒシバ	+	+										
H2.57 シオカゼテンツキ												
H2.58 トキワカモメツル												
H2.59 ニワゼキショウ							+				+	
H2.60 セイヨウタンポポ											+	+
H2.61 キバナニワゼキショウ											+	
H2.62 ジシバリ												
H2.63 ギョウギシバ		+		+								
H2.64 ツメクサ							+					
H2.65 コマツヨイグサ							+					
H2.66 コメツブウマゴヤシ											+	+
H2.67 ツボミオオバコ											+	
H2.68 ハマハナヤスリ												
H2.69 ベニバナボロギク												
H2.70 タイワンハチジョウナ												
H2.71 インドシャリンバイ												
H2.72 シマイズセンリョウ												
H2.73 クグテンツキ												

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-44(3) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.2 北側)

N-4.2 無障害物帯形成地	北側				北側		北側				北側	
	H26年度				H27年度		H29年度				H30年度	
	6/4	8/28	11/12	1/27	6/10	9/4	6/2	9/1	11/30	1/30	5/8	7/25
海拔 (m)	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175
方位	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S
傾斜角度 (°)	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
草本層-1(H1)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層-1(H1)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層-1(H1)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層-2(H2)の高さ (m)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3
草本層-2(H2)の植被率 (%)	90	95	95	95	95	95	90	90	90	70	70	80
草本層-2(H2)の出現数 (種)	8	9	6	6	4	5	17	5	6	6	14	18
出現種数 (種)	8	9	6	6	4	5	17	5	6	6	14	18
草本層-2(H)												
H2.74 ホソバアキノゲシ												
H2.75 オキノゲシ	+											
H2.76 ハイキビ	+											
H2.77 ホトケノザ	+											
H2.78 ムラサキエノコロ		+										
H2.79 ハマエノコロ			+									
H2.80 ニガカシュウ					+							
H2.81 ウリクサ							+					
H2.82 スズメノエンドウ							+					
H2.83 シソsp.											++	
H2.84 メドハギ												+
H2.85 イガガヤツリ												+
H2.86 ウスベニニガナ												+
H2.87 ハゼラン												
H2.88 コバノニシキソウ												
H2.89 チドメグサ												
H2.90 アメリカフウロ												
H2.91 カラスノエンドウ												
H2.92 アイナエ												
H2.93 アフリカヒゲシバ												
H2.94 ネズミノオ												
H2.95 ソクシラン												
H2.96 ヒメコバンソウ												
H2.97 イヌビエ												
H2.98 チチコグサ												
H2.99 シマスズメノヒエ												
H2.100 クロミノキナワズメウリ												
H2.101 サキシマフヨウ												
H2.102 タイミンタチバナ												
H2.103 スズメノカタビラ												
H2.104 ハルノゲシ												
H2.105 タチアワユキセンダングサ												
H2.106 キダチコミカンソウ												
H2.107 オオアレチノギク												
H2.108 コブナグサ												

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5：被度が75～100%、4：被度が50～75%、3：被度が25～50%、2：被度が10～25%、1：被度が10%未満、+：被度が1%以下

群度→5：カーペット状に分布、4：カーペットに穴が開いた状態、3：大きな班を形成あるいはまだら状、2：班状に分布、1：小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-45(1) 無障害物帯形成地の植生調査結果 (N-4.2 南側)

調査年月日	N-4.2 無障害物帯形成地														
	南側		南側					南側		南側				南側	
	H25年度	H26年度					H27年度		H29年度				H30年度		
	3/7	6/4	8/28	11/12	1/27	6/10	9/4	6/3	9/1	11/30	1/30	5/8	7/25		
海拔 (m)	173	173	173	173	173	173	173	173	173	173	173	173	173		
方位	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W		
傾斜角度 (°)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5		
草本層-1(H1)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
草本層-1(H1)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
草本層-1(H1)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
草本層-2(H2)の高さ (m)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2		
草本層-2(H2)の植被率 (%)	20	40	70	80	80	80	80	80	95	100	100	100	100		
草本層-2(H2)の出現数 (種)	2	6	5	9	14	11	10	12	10	15	9	15	16		
出現種数 (種)	2	6	5	9	14	11	10	12	10	15	9	15	16		
草本層-1(H)															
H1.1 ホルトノキ(モガシ)															
H1.2 リュウキュウチク															
H1.3 アカメガシワ															
H1.4 タチスズメノヒエ															
H1.5 オキナワサルトリイバラ															
H1.6 ススキ															
H1.7 ギンゴウカン(ギンネム)															
H1.8 ヒメユズリハ															
H1.9 ハゼノキ															
H1.10 シマスズメノヒエ															
H1.11 セイタカアワダチソウ															
草本層-2(H)															
H2.1 シバ	2・3	3・3	4・4	5・5	4・5	4・5	4・5	4・4	4・4	4・4	5・5	5・5	5・5		
H2.2 ハイシロノセンダングサ					+	+	+	1・2	+2	2・2	2・2	2・2	2・2		
H2.3 タチスズメノヒエ		+			+				+				+		
H2.4 ギンゴウカン(ギンネム)		+			+				+	+			+		
H2.5 チガヤ													1・2		
H2.6 コバナヒメハギ			+	+	+	+	+			+					
H2.7 コゴメスゲ		+		+	+	+	+						+		
H2.8 ホシダ													+		
H2.9 アキノノゲシ													+		
H2.10 イヌビワ															
H2.11 マルバダケハギ				+	+	+	+	+2	+2	+2	+2	+	+		
H2.12 リュウキュウイチゴ															
H2.13 ヤハズソウ								2・2	3・3	3・3		1・2	1・2		
H2.14 ヒメジョオン											+	+			
H2.15 コウライシバ				1・2	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2	1・2	1・2	1・2	1・2		
H2.16 イワダレソウ			+	+	+	+	+		+2	+2	+	+	+		
H2.17 オニタビラコ															
H2.18 アカメガシワ															
H2.19 オキナワサルトリイバラ															
H2.20 ヒメユズリハ															
H2.21 キキョウラン															
H2.22 シラタマカズラ															
H2.23 トベラ															
H2.24 ホルトノキ(モガシ)															
H2.25 リュウキュウチク															
H2.26 リュウキュウテイカカズラ															
H2.27 タブノキ															
H2.28 ホウロクイチゴ															
H2.29 リュウキュウマツ													+		
H2.30 ナガバハリタバ	+	+	+	+	+	+	+			+			+		

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーペット状に分布, 4: カーペットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-45(2) 無障害物帯形成地の植生調査結果 (N-4.2 南側)

調査年月日	N-4.2 無障害物帯形成地														
	南側		南側					南側		南側				南側	
	H25年度	H26年度					H27年度		H29年度				H30年度		
	3/7	6/4	8/28	11/12	1/27	6/10	9/4	6/3	9/1	11/30	1/30	5/8	7/25		
海拔 (m)	173	173	173	173	173	173	173	173	173	173	173	173	173		
方位	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W		
傾斜角度 (°)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5		
草本層-1(H1)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
草本層-1(H1)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
草本層-1(H1)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
草本層-2(H2)の高さ (m)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2		
草本層-2(H2)の植被率 (%)	20	40	70	80	80	80	80	80	95	100	100	100	100		
草本層-2(H2)の出現数 (種)	2	6	5	9	14	11	10	12	10	15	9	15	16		
出現種数 (種)	2	6	5	9	14	11	10	12	10	15	9	15	16		
草本層-2(H)															
H2.31 ススキ							+	+							
H2.32 ケイカカズラ															
H2.33 ヒメムカシヨモギ															
H2.34 ホウキギク															
H2.35 スギナ															
H2.36 ハゼノキ															
H2.37 スタジイ(イタジイ)															
H2.38 アブラススキ		+													
H2.39 カタバミ															
H2.40 セイタカアワダチソウ															
H2.41 オオバギ															
H2.42 ニシヨモギ															
H2.43 メヒシバ						+		+		+	+				
H2.44 ハマダマ															
H2.45 ウラジロカンコノキ															
H2.46 アゼガヤツリ								+	+	+	+	+	++2		
H2.47 ヒメクグ										+	+	+	+		
H2.48 エダウチチヂミザサ															
H2.49 イタヒカズラ															
H2.50 オオバチヂミザサ															
H2.51 カキバカンコノキ															
H2.52 アメリカホウライセンブリ						+	+	+	++2						
H2.53 ツボクサ															
H2.54 シバヤブニッケイ															
H2.55 ヤマグワ															
H2.56 コメヒシバ															
H2.57 シオカゼテンツキ										+	+	+	+		
H2.58 トキワカモメツル															
H2.59 ニワゼキショウ									+						
H2.60 セイヨウタンポポ															
H2.61 キバナニワゼキショウ									+			+			
H2.62 ジシバリ															
H2.63 ギョウギシバ															
H2.64 ツメクサ									+						
H2.65 コマツヨイグサ															
H2.66 コメツブウマゴヤシ															
H2.67 ツボミオオバコ															
H2.68 ハマハナヤスリ						+	+								
H2.69 ベニバナボロギク															
H2.70 タイワンハチジョウナ															
H2.71 インドシャリンバイ															
H2.72 シマイズセンリョウ															
H2.73 クグテンツキ															

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-45(3) 無障害物帯形成地の植生調査結果 (N-4.2 南側)

調査年月日	N-4.2 無障害物帯形成地														
	南側		南側					南側		南側				南側	
	H25年度	H26年度					H27年度		H29年度				H30年度		
	3/7	6/4	8/28	11/12	1/27	6/10	9/4	6/3	9/1	11/30	1/30	5/8	7/25		
海拔 (m)	173	173	173	173	173	173	173	173	173	173	173	173	173		
方位	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W		
傾斜角度 (°)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5		
草本層-1(H1)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
草本層-1(H1)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
草本層-1(H1)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
草本層-2(H2)の高さ (m)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2		
草本層-2(H2)の植被率 (%)	20	40	70	80	80	80	80	80	95	100	100	100	100		
草本層-2(H2)の出現数 (種)	2	6	5	9	14	11	10	12	10	15	9	15	16		
出現種数 (種)	2	6	5	9	14	11	10	12	10	15	9	15	16		
草本層-2(H)															
H2.74	ホソバアキノゲシ														
H2.75	オキノゲシ														
H2.76	ハイキビ														
H2.77	ホトケノザ														
H2.78	ムラサキエノコロ														
H2.79	ハマエノコロ														
H2.80	ニガカシュウ														
H2.81	ウリクサ														
H2.82	スズメノエンドウ														
H2.83	シソsp.														
H2.84	メドハギ														
H2.85	イガガヤツリ														
H2.86	ウスベニニガナ														
H2.87	ハゼラン														
H2.88	コバノニシキソウ														
H2.89	チドメグサ														
H2.90	アメリカフウロ														
H2.91	カラスノエンドウ														
H2.92	アイナエ														
H2.93	アフリカヒゲシバ														
H2.94	ネズミノオ														
H2.95	ソクシンラン														
H2.96	ヒメコバンソウ														
H2.97	イヌビエ														
H2.98	チチコグサ														
H2.99	シマスズメノヒエ														
H2.100	クロミノオキナワスズメウリ														
H2.101	サキシマフヨウ														
H2.102	タイミンタチバナ														
H2.103	スズメノカタビラ														
H2.104	ハルノゲシ														
H2.105	タチアワユキセンダングサ														
H2.106	キダチコミカンソウ														
H2.107	オオアレチノギク														
H2.108	コブナグサ														

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーベツト状に分布, 4: カーベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな斑を形成あるいはまだら状, 2: 斑状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-46(1) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.2 南東側)

調査年月日	N-4.2 無障害物帯形成地													
	南東側	南東側					南東側		南東側			南東側		
	H25年度	H26年度					H27年度		H29年度			H30年度		
	3/7	6/4	8/28	11/12	1/27	6/10	9/4	6/2	9/1	11/30	1/30	5/8	7/25	
海拔 (m)	171	171	171	171	171	171	171	171	171	171	171	171	171	
方位	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	
傾斜角度 (°)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	
草本層-1(H1)の高さ (m)	-	-	-	-	-	2	2	1	1	1	1	-	-	
草本層-1(H1)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	20	20	20	20	10	5	-	-	
草本層-1(H1)の出現数 (種)	0	-	-	-	-	1	3	2	2	2	1	-	-	
草本層-2(H2)の高さ (m)	0.1	0.3	0.7	0.7	0.3	0.3	0.3	0.5	0.3	0.3	0.3	0.4	0.5	
草本層-2(H2)の植被率 (%)	85	100	100	100	100	100	20	90	90	95	90	90	90	
草本層-2(H2)の出現数 (種)	1	11	7	10	11	8	9	11	8	14	12	9	12	
出現種数 (種)	1	11	7	10	11	9	11	11	8	14	12	9	12	
草本層-1(H)														
H1.1 ホルトノキ(モガシ)														
H1.2 リュウキュウチク														
H1.3 アカメガシワ														
H1.4 タチスズメノヒエ						2・2	2・2	2・2	2・2	+				
H1.5 オキナワサルトリイバラ														
H1.6 ススキ														
H1.7 ギンゴウカン(ギンネム)								+	+	1・2	1・2			
H1.8 ヒメズリハ														
H1.9 ハゼノキ														
H1.10 シマスズメノヒエ							+							
H1.11 セイタカアワダチソウ							+							
草本層-2(H)														
H2.1 シバ	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	1・2	1・2			+			
H2.2 ハイシロノセンダングサ				+	+	++2	1・2	4・4	3・4	3・4	3・3	3・3	3・3	
H2.3 タチスズメノヒエ				++2	++2			1・2	+	+	1・2	1・2	1・2	
H2.4 ギンゴウカン(ギンネム)								+	+	+	+	+	+	
H2.5 チガヤ		+	+					2・2	3・3	3・3	3・3	4・4	4・4	
H2.6 コバナヒメハギ						+	+						+	
H2.7 コゴメスゲ														
H2.8 ホシダ		+	+	+	+		+	+	+	++2	+	+	++2	
H2.9 アキノゲシ		++2	++2	+	+	+	+			+	+	+	+	
H2.10 イヌビワ								+	+	+	+	+	+	
H2.11 マルバダケハギ														
H2.12 リュウキュウイチゴ								+		+	+			
H2.13 ヤハズソウ													+	
H2.14 ヒメジョオン				+	+									
H2.15 コウライシバ									1・2	++2				
H2.16 イワダレソウ												+	+	
H2.17 オニタビラコ							+			+	+			
H2.18 アカメガシワ														
H2.19 オキナワサルトリイバラ														
H2.20 ヒメズリハ														
H2.21 キキョウラン														
H2.22 シラタマカズラ														
H2.23 トベラ														
H2.24 ホルトノキ(モガシ)														
H2.25 リュウキュウチク														
H2.26 リュウキュウテイカカズラ														
H2.27 タブノキ														
H2.28 ホウロクイチゴ														
H2.29 リュウキュウマツ														
H2.30 ナガバハリフタバ										+			+	

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーペット状に分布, 4: カーペットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-46(2) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.2 南東側)

調査年月日	N-4.2 無障害物帯形成地													
	南東側		南東側					南東側		南東側			南東側	
	H25年度	H26年度					H27年度		H29年度			H30年度		
	3/7	6/4	8/28	11/12	1/27	6/10	9/4	6/2	9/1	11/30	1/30	5/8	7/25	
海拔 (m)	171	171	171	171	171	171	171	171	171	171	171	171	171	
方位	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	
傾斜角度 (°)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	
草本層-1(H1)の高さ (m)	-	-	-	-	-	2	2	1	1	1	1	-	-	
草本層-1(H1)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	20	20	20	20	10	5	-	-	
草本層-1(H1)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	1	3	2	2	2	1	-	-	
草本層-2(H2)の高さ (m)	0.1	0.3	0.7	0.7	0.3	0.3	0.3	0.5	0.3	0.3	0.3	0.4	0.5	
草本層-2(H2)の植被率 (%)	85	100	100	100	100	100	20	90	90	95	90	90	90	
草本層-2(H2)の出現数 (種)	1	11	7	10	11	8	9	11	8	14	12	9	12	
出現種数 (種)	1	11	7	10	11	9	11	11	8	14	12	9	12	
草本層-2(H)														
H2.31 ススキ														
H2.32 ケテイカズラ														
H2.33 ヒメムカシヨモギ		+			+									
H2.34 ホウキギク				+										
H2.35 スギナ		+2	+2	+	+	+								
H2.36 ハゼノキ														
H2.37 スタジイ(イタジイ)														
H2.38 アブラススキ						+	+				+	+		
H2.39 カタバミ		+	+	+	+	+	+				+			
H2.40 セイタカアワダチソウ							+	+2	+2	+2	+	+	+	
H2.41 オオバギ														
H2.42 ニシヨモギ														
H2.43 メヒシバ		+												
H2.44 ハマスゲ				+	+	+	+							
H2.45 ウラジロカンコノキ														
H2.46 アゼガヤツリ														
H2.47 ヒメクグ														
H2.48 エダウチヂミザサ														
H2.49 イタビカズラ														
H2.50 オオバチヂミザサ														
H2.51 カキバカンコノキ														
H2.52 アメリカホウライセンブリ														
H2.53 ツボクサ									+					
H2.54 シバヤブニッケイ														
H2.55 ヤマグワ														
H2.56 コメヒシバ														
H2.57 シオカゼテンツキ														
H2.58 トキワカモメツル														
H2.59 ニワゼキショウ														
H2.60 セイヨウタンポポ														
H2.61 キバナニワゼキショウ														
H2.62 ジシバリ														
H2.63 ギョウギシバ														
H2.64 ツメクサ														
H2.65 コマツヨイグサ														
H2.66 コメツブウマゴヤシ														
H2.67 ツボミオオバコ														
H2.68 ハマハナヤスリ														
H2.69 ベニバナボロギク		+	+											
H2.70 タイワンハチジョウナ														
H2.71 インドシャリンバイ														
H2.72 シマイズセンリョウ														
H2.73 クグテンツキ														

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-46(3) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.2 南東側)

調査年月日	N-4.2 無障害物帯形成地													
	南東側	南東側					南東側		南東側			南東側		
	H25年度	H26年度					H27年度		H29年度			H30年度		
	3/7	6/4	8/28	11/12	1/27	6/10	9/4	6/2	9/1	11/30	1/30	5/8	7/25	
海拔 (m)	171	171	171	171	171	171	171	171	171	171	171	171	171	
方位	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	
傾斜角度 (°)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	
草本層-1(H1)の高さ (m)	-	-	-	-	-	2	2	1	1	1	1	-	-	
草本層-1(H1)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	20	20	20	20	10	5	-	-	
草本層-1(H1)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	1	3	2	2	2	1	-	-	
草本層-2(H2)の高さ (m)	0.1	0.3	0.7	0.7	0.3	0.3	0.3	0.5	0.3	0.3	0.3	0.4	0.5	
草本層-2(H2)の植被率 (%)	85	100	100	100	100	100	20	90	90	95	90	90	90	
草本層-2(H2)の出現数 (種)	1	11	7	10	11	8	9	11	8	14	12	9	12	
出現種数 (種)	1	11	7	10	11	9	11	11	8	14	12	9	12	
草本層-2(H)														
H2.74 ホソバアキノゲシ														
H2.75 オキノゲシ														
H2.76 ハイキビ														
H2.77 ホトケノザ														
H2.78 ムラサキエノコロ														
H2.79 ハマエノコロ														
H2.80 ニガカシュウ														
H2.81 ウリクサ														
H2.82 スズメノエンドウ														
H2.83 シソsp.														
H2.84 メドハギ														
H2.85 イガガヤツリ														
H2.86 ウスベニニガナ														
H2.87 ハゼラン														
H2.88 コバノニシキソウ														
H2.89 チドメグサ														
H2.90 アメリカフウロ														
H2.91 カラスノエンドウ														
H2.92 アイナエ														
H2.93 アフリカヒゲシバ														
H2.94 ネズミノオ														
H2.95 ソクシンラン														
H2.96 ヒメコバンソウ														
H2.97 イヌビエ		+												
H2.98 チチコグサ		+												
H2.99 シマスズメノヒエ								+						
H2.100 クロミノオキナワスズメウリ														
H2.101 サキシマフヨウ														
H2.102 タイミンタチバナ														
H2.103 スズメノカタビラ														
H2.104 ハルノゲシ														
H2.105 タチアワユキセンダングサ														
H2.106 キダチコミカンソウ														
H2.107 オオアレチノギク														
H2.108 コブナグサ														

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5：被度が75～100%，4：被度が50～75%，3：被度が25～50%，2：被度が10～25%，1：被度が10%未満，+：被度が1%以下

群度→5：カーペット状に分布，4：カーペットに穴が開いた状態，3：大きな斑を形成あるいはまだら状，2：斑状に分布，1：小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-47(1) 無障害物帯形成地の植生調査結果 (N-4.2 東側)

調査年月日	N-4.2 無障害物帯形成地														
	東側		東側					東側		東側				東側	
	H25年度	H26年度					H27年度		H29年度				H30年度		
	3/7	6/4	8/28	11/12	1/27	6/10	9/4	6/2	9/1	11/30	1/30	5/8	7/25		
海拔 (m)	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172		
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
傾斜角度 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5		
草本層-1(H1)の高さ (m)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
草本層-1(H1)の植被率 (%)	25	30	30	30	30	30	30	30	10	10	10	10	10		
草本層-1(H1)の出現数 (種)	1	3	3	3	3	5	5	4	3	4	4	4	4		
草本層-2(H2)の高さ (m)	1.0	1.0	1.2	1.2	1.2	1.2	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5		
草本層-2(H2)の植被率 (%)	20	40	50	50	60	60	60	80	80	90	90	90	90		
草本層-2(H2)の出現数 (種)	21	25	26	27	26	28	27	24	25	26	24	26	24		
出現種数 (種)	22	25	26	27	27	28	27	24	25	26	24	26	24		
草本層-1(H)															
H1.1 ホルトノキ(モガシ)		1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1		
H1.2 リュウキュウチク	2・3	2・3	2・3	2・3	2・3	2・3	2・3	1・2							
H1.3 アカメガシワ						+	+	+	+	+	+	+	+		
H1.4 タチスズメノヒエ															
H1.5 オキナワサルトリイバラ		+	+	+	+	+	+								
H1.6 ススキ								2・2	+	+2	+2	+2	1・2		
H1.7 ギンゴウカン(ギンネム)															
H1.8 ヒメズリハ										+	+	+	+		
H1.9 ハゼノキ						+	+								
H1.10 シマスズメノヒエ															
H1.11 セイタカアワダチソウ															
草本層-2(H)															
H2.1 シバ															
H2.2 ハイシロノセンダングサ		+2	+2	+2	1・2	1・2	1・2	+2	+2	+	+	+2	+2		
H2.3 タチスズメノヒエ					+	+									
H2.4 ギンゴウカン(ギンネム)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+2	+	+	+		
H2.5 チガヤ															
H2.6 コバナヒメハギ	+	+	+	+	+	+	+								
H2.7 コゴメスゲ	+	+	+	+	+	+	+	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2		
H2.8 ホシダ								1・2	+2	1・2	1・2	1・2	2・2		
H2.9 アキノノゲシ															
H2.10 イヌビワ		+	+		+	+	+	+2	+	+2	+2	+2	+2		
H2.11 マルバダケハギ															
H2.12 リュウキュウイチゴ	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・2	+	+	+	+	+	+		
H2.13 ヤハズソウ															
H2.14 ヒメジョオン															
H2.15 コウライシバ															
H2.16 イワダレソウ															
H2.17 オニタビラコ	+														
H2.18 アカメガシワ	1・2	3・3	3・3	3・3	2・3	2・3	2・3	2・3	2・3	2・3	1・2	1・2	1・2		
H2.19 オキナワサルトリイバラ	+2	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+		
H2.20 ヒメズリハ	+	+	+	+	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2		
H2.21 キキョウラン	+	+	+	+	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2		
H2.22 シラタマカズラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+		
H2.23 トベラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+		
H2.24 ホルトノキ(モガシ)	+	+	+	+		+	+	+	+	+	+	+	+		
H2.25 リュウキュウチク		+2	+2	+2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	2・2	2・2	2・2	2・2		
H2.26 リュウキュウテイカカズラ		+	+	+2	+2	+2	+	+	+	+	+	+	+		
H2.27 タブノキ		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+		
H2.28 ホウロクイチゴ		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+		
H2.29 リュウキュウマツ	+		+	+	+	+	+								
H2.30 ナガバハリフタバ															

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーペット状に分布, 4: カーペットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-47(2) 無障害物帯形成地の植生調査結果 (N-4.2 東側)

調査年月日	N-4.2 無障害物帯形成地													
	東側		東側				東側		東側				東側	
	H25年度	H26年度					H27年度		H29年度				H30年度	
	3/7	6/4	8/28	11/12	1/27	6/10	9/4	6/2	9/1	11/30	1/30	5/8	7/25	
海拔 (m)	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
傾斜角度 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	
草本層-1(H1)の高さ (m)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
草本層-1(H1)の植被率 (%)	25	30	30	30	30	30	30	30	10	10	10	10	10	
草本層-1(H1)の出現数 (種)	1	3	3	3	3	5	5	4	3	4	4	4	4	
草本層-2(H2)の高さ (m)	1.0	1.0	1.2	1.2	1.2	1.2	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	
草本層-2(H2)の植被率 (%)	20	40	50	50	60	60	60	80	80	90	90	90	90	
草本層-2(H2)の出現数 (種)	21	25	26	27	26	28	27	24	25	26	24	26	24	
出現種数 (種)	22	25	26	27	27	28	27	24	25	26	24	26	24	
草本層-2(H)														
H2.31 ススキ					+	+	+	3・3	3・3	4・4	4・4	4・4	4・4	
H2.32 ケテイカズラ	++2			+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
H2.33 ヒメムカシヨモギ														
H2.34 ホウキギク														
H2.35 スギナ														
H2.36 ハゼノキ			+	+	+	+	+	+	+	+		+	+	
H2.37 スタジイ(イタジイ)				+	+	+	+	+	+	++2	+	+	+	
H2.38 アブラスキ														
H2.39 カタバミ														
H2.40 セイタカアワダチソウ														
H2.41 オオバギ	+	+	+	+	+	+	+		+	+				
H2.42 ニシヨモギ														
H2.43 メヒシバ														
H2.44 ハマスゲ														
H2.45 ウラジロカンコノキ		+	+	+	+	+	+	+						
H2.46 アゼガヤツリ														
H2.47 ヒメクグ														
H2.48 エダウチヂミザサ	++2								+	+	+	+	+	
H2.49 イタバカズラ	+	+	+	+	+	+	+							
H2.50 オオバチヂミザサ		+	+	+	+	+	+							
H2.51 カキバカンコノキ								+	+	+	+	+	+	
H2.52 アメリカホウライセンブリ														
H2.53 ツボクサ	+	+	+	+										
H2.54 シバヤブニッケイ	+		+	+		+	+							
H2.55 ヤマグワ								+	+	+		+	+	
H2.56 コメヒシバ														
H2.57 シオカゼテンツキ														
H2.58 トキワカモメツル	+	+	+	+										
H2.59 ニワゼキショウ														
H2.60 セイヨウタンポポ														
H2.61 キバナニワゼキショウ														
H2.62 ジシバリ														
H2.63 ギョウギシバ														
H2.64 ツメクサ														
H2.65 コマツヨイグサ														
H2.66 コメツブウマゴヤシ														
H2.67 ツボミオオバコ														
H2.68 ハマハナヤスリ														
H2.69 ベニバナボロギク														
H2.70 タイワンハチジョウナ	+	+												
H2.71 インドシャリンバイ										+	+			
H2.72 シマイズセンリョウ											+	+		
H2.73 クグテンツキ														

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-47(3) 無障害物帯形成地の植生調査結果 (N-4.2 東側)

調査年月日	N-4.2 無障害物帯形成地														
	東側		東側					東側		東側				東側	
	H25年度	H26年度					H27年度		H29年度				H30年度		
	3/7	6/4	8/28	11/12	1/27	6/10	9/4	6/2	9/1	11/30	1/30	5/8	7/25		
海拔 (m)	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172		
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
傾斜角度 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5		
草本層-1(H1)の高さ (m)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
草本層-1(H1)の植被率 (%)	25	30	30	30	30	30	30	30	10	10	10	10	10		
草本層-1(H1)の出現数 (種)	1	3	3	3	3	5	5	4	3	4	4	4	4		
草本層-2(H2)の高さ (m)	1.0	1.0	1.2	1.2	1.2	1.2	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5		
草本層-2(H2)の植被率 (%)	20	40	50	50	60	60	80	80	90	90	90	90	90		
草本層-2(H2)の出現数 (種)	21	25	26	27	26	28	27	24	25	26	24	26	24		
出現種数 (種)	22	25	26	27	27	28	27	24	25	26	24	26	24		
草本層-2(H)															
H2.74	ホソバアキノゲシ														
H2.75	オキノゲシ														
H2.76	ハイキビ														
H2.77	ホトケノザ														
H2.78	ムラサキエノコ														
H2.79	ハマエノコ														
H2.80	ニガカシュウ														
H2.81	ウリクサ														
H2.82	スズメノエンドウ														
H2.83	シソsp.														
H2.84	メドハギ														
H2.85	イガガヤツリ														
H2.86	ウスベニニガナ														
H2.87	ハゼラン														
H2.88	コバノニシキソウ														
H2.89	チドメグサ														
H2.90	アメリカフウロ														
H2.91	カラスノエンドウ														
H2.92	アイナエ														
H2.93	アフリカヒゲシバ														
H2.94	ネズミノオ														
H2.95	ソクシンラン														
H2.96	ヒメコバンソウ														
H2.97	イヌビエ														
H2.98	チチコグサ														
H2.99	シマスズメノヒエ														
H2.100	クロミノオキナワスズメウリ														
H2.101	サキシマフヨウ														
H2.102	タイムンタチバナ														
H2.103	スズメノカタビラ														
H2.104	ハルノゲシ														
H2.105	タチアワユキセンダングサ														
H2.106	キダチコミカンソウ														
H2.107	オオアレチノギク														
H2.108	コブナグサ														

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5：被度が75～100%, 4：被度が50～75%, 3：被度が25～50%, 2：被度が10～25%, 1：被度が10%未満, +：被度が1%以下

群度→5：カーベツト状に分布, 4：カーベツトに穴が開いた状態, 3：大きな斑を形成あるいはまだら状, 2：斑状に分布, 1：小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-48(1) 無障害物帯形成地の植生調査結果 (N-4.2 西側)

N-4.2 無障害物帯形成地	調査年月日	西側		西側			西側			西側			出現回数		
		H25年度	H26年度			H27年度		H29年度			H30年度				
		3/7	6/4	8/28	11/12	1/27	6/10	9/4	6/3	9/1	11/30	1/30		5/8	7/25
海拔 (m)	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167		
方位	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W		
傾斜角度 (°)	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30		
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5		
草本層-1(H1)の高さ (m)	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-		
草本層-1(H1)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-		
草本層-1(H1)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-		
草本層-2(H2)の高さ (m)	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4		
草本層-2(H2)の植被率 (%)	80	100	100	100	100	100	100	90	90	15	20	40	25		
草本層-2(H2)の出現数 (種)	2	5	7	8	9	10	14	15	16	5	5	15	8		
出現種数 (種)	2	5	7	8	9	11	15	15	16	5	5	15	8		
草本層-1(H)															
H1.1	ホルトノキ(モガシ)													12	
H1.2	リュウキュウチク													8	
H1.3	アカメガシワ													8	
H1.4	タチスズメノヒエ						+	+						7	
H1.5	オキナワサルトリイバラ													6	
H1.6	ススキ													6	
H1.7	ギンゴウカン(ギンネム)													4	
H1.8	ヒメユズリハ													4	
H1.9	ハゼノキ													2	
H1.10	シマスズメノヒエ													1	
H1.11	セイタカアワダチソウ													1	
草本層-2(H)															
H2.1	シバ	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	3・3	3・3			+	+	45	
H2.2	ハイシロノセンダンゲサ							+	1・2	1・2	1・2	1・2	3・3	2・2	45
H2.3	タチスズメノヒエ			+	+				+	+		+	+	30	
H2.4	ギンゴウカン(ギンネム)													25	
H2.5	チガヤ		+	+	+			4・4	4・4	1・2	1・2	1・2	1・2	24	
H2.6	コバナヒメハギ			+	+		+							23	
H2.7	コゴメスゲ						+					+	+	23	
H2.8	ホシダ					+	+	+	+				+	22	
H2.9	アキノゲシ				+		+	+	+				+	17	
H2.10	イヌビワ													17	
H2.11	マルバダケハギ													16	
H2.12	リュウキュウイチゴ													16	
H2.13	ヤハズソウ								+				+	15	
H2.14	ヒメジョオン		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	15	
H2.15	コウライシバ													14	
H2.16	イワダレソウ									+		+		14	
H2.17	オニタヒラコ					+	+	+	+	+	+	+	+	13	
H2.18	アカメガシワ													13	
H2.19	オキナワサルトリイバラ													13	
H2.20	ヒメユズリハ													13	
H2.21	キキョウラン													13	
H2.22	シラタマカズラ													13	
H2.23	トベラ													13	
H2.24	ホルトノキ(モガシ)													12	
H2.25	リュウキュウチク													12	
H2.26	リュウキュウテイカズラ													12	
H2.27	タブノキ													12	
H2.28	ホウロクイチゴ													12	
H2.29	リュウキュウマツ					+	+					+		11	
H2.30	ナガバハリフタバ													11	

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーペット状に分布, 4: カーペットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-48(2) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.2 西側)

N-4.2 無障害物帯形成地	調査年月日	西側		西側			西側			西側			出現回数		
		H25年度	H26年度					H27年度		H29年度				H30年度	
		3/7	6/4	8/28	11/12	1/27	6/10	9/4	6/3	9/1	11/30	1/30		5/8	7/25
海拔 (m)	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167		
方位	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W		
傾斜角度 (°)	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30		
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5		
草本層-1(H1)の高さ (m)	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-		
草本層-1(H1)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-		
草本層-1(H1)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-		
草本層-2(H2)の高さ (m)	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4		
草本層-2(H2)の植被率 (%)	80	100	100	100	100	100	100	90	90	15	20	40	25		
草本層-2(H2)の出現数 (種)	2	5	7	8	9	10	14	15	16	5	5	15	8		
出現種数 (種)	2	5	7	8	9	11	15	15	16	5	5	15	8		
草本層-2(H)															
H2.31 ススキ													11		
H2.32 ケテイカズラ													11		
H2.33 ヒメムカシヨモギ			+	+	+	1・2	1・2	1・2	1・2				10		
H2.34 ホウキギク							+	+				+	+		
H2.35 スギナ	+	+			+2	1・2	1・2						10		
H2.36 ハゼノキ													10		
H2.37 スダジイ(イタジイ)													10		
H2.38 アブラススキ													9		
H2.39 カタバミ					+		+						9		
H2.40 セイタカアワダチソウ								+	+				9		
H2.41 オオバギ													9		
H2.42 ニシヨモギ													8		
H2.43 メヒシバ		+											7		
H2.44 ハマスゲ								2・2	1・2	+			7		
H2.45 ウラジロカンコノキ													7		
H2.46 アゼガヤツリ													6		
H2.47 ヒメクグ									+			+	6		
H2.48 エダウチチヂミザサ													6		
H2.49 イタビカズラ													6		
H2.50 オオバチヂミザサ													6		
H2.51 カキバカンコノキ													6		
H2.52 アメリカホウライセンブリ													5		
H2.53 ツボクサ													5		
H2.54 シバヤブニッケイ													5		
H2.55 ヤマグワ													5		
H2.56 コメヒシバ			+	+									4		
H2.57 シオカゼテンツキ													4		
H2.58 トキワカメヅル													4		
H2.59 ニワゼキショウ													3		
H2.60 セイヨウタンポポ						+							3		
H2.61 キバナニワゼキショウ													3		
H2.62 ジシバリ			+	+	+								3		
H2.63 ギョウギシバ													2		
H2.64 ツメクサ													2		
H2.65 コマツイグサ												+	2		
H2.66 コメツブウマゴヤシ													2		
H2.67 ツボミオオバコ												+	2		
H2.68 ハマハナヤスリ													2		
H2.69 ベニバナボロギク													2		
H2.70 タイワンハチジョウナ													2		
H2.71 インドシャリンバイ													2		
H2.72 シマイズセンリョウ									+	+			2		
H2.73 クグテンツキ													2		

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5：被度が75～100%、4：被度が50～75%、3：被度が25～50%、2：被度が10～25%、1：被度が10%未満、+：被度が1%以下

群度→5：カベツト状に分布、4：カベツトに穴が開いた状態、3：大きな班を形成あるいはまだら状、2：班状に分布、1：小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-48(3) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.2 西側)

調査年月日	N-4.2 無障害物帯形成地														出現回数
	西側		西側				西側		西側				西側		
	H25年度	H26年度				H27年度		H29年度				H30年度			
	3/7	6/4	8/28	11/12	1/27	6/10	9/4	6/3	9/1	11/30	1/30	5/8	7/25		
海拔 (m)	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	
方位	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	
傾斜角度 (°)	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	
草本層-1(H1)の高さ (m)	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	
草本層-1(H1)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	
草本層-1(H1)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	
草本層-2(H2)の高さ (m)	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	
草本層-2(H2)の植被率 (%)	80	100	100	100	100	100	100	90	90	15	20	40	25	25	
草本層-2(H2)の出現数 (種)	2	5	7	8	9	10	14	15	16	5	5	15	8	8	
出現種数 (種)	2	5	7	8	9	11	15	15	16	5	5	15	8	8	
草本層-2(H)															
H2.74 ホソバアキノゲシ									+	+					2
H2.75 オキノゲシ															1
H2.76 ハイキビ															1
H2.77 ホトケノザ															1
H2.78 ムラサキエノコロ															1
H2.79 ハマエノコロ															1
H2.80 ニガカシュウ															1
H2.81 ウリクサ															1
H2.82 スズメノエンドウ															1
H2.83 シソsp.															1
H2.84 メドハギ															1
H2.85 イガガヤツリ															1
H2.86 ウスベニニガナ															1
H2.87 ハゼラン															1
H2.88 コバノニシキソウ															1
H2.89 チドメグサ															1
H2.90 アメリカワウロ															1
H2.91 カラスノエンドウ															1
H2.92 アイナエ															1
H2.93 アフリカヒゲシバ															1
H2.94 ネズミノオ															1
H2.95 ソクシンラン															1
H2.96 ヒメコバンソウ															1
H2.97 イヌビエ															1
H2.98 チチコグサ															1
H2.99 シマスズメノヒエ															1
H2.100 クロミノオキナワスズメウリ															1
H2.101 サキシマフヨウ															1
H2.102 タイミンタチバナ															1
H2.103 スズメノカタビラ		+													1
H2.104 ハルノゲシ		+													1
H2.105 タチアワユキセンダングサ						+									1
H2.106 キダチコミカンソウ							+								1
H2.107 オオアレチノギク								+							1
H2.108 コブナグサ									+						1

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5：被度が75～100%、4：被度が50～75%、3：被度が25～50%、2：被度が10～25%、1：被度が10%未満、+：被度が1%以下

群度→5：カーペット状に分布、4：カーペットに穴が開いた状態、3：大きな班を形成あるいはまだら状、2：班状に分布、1：小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

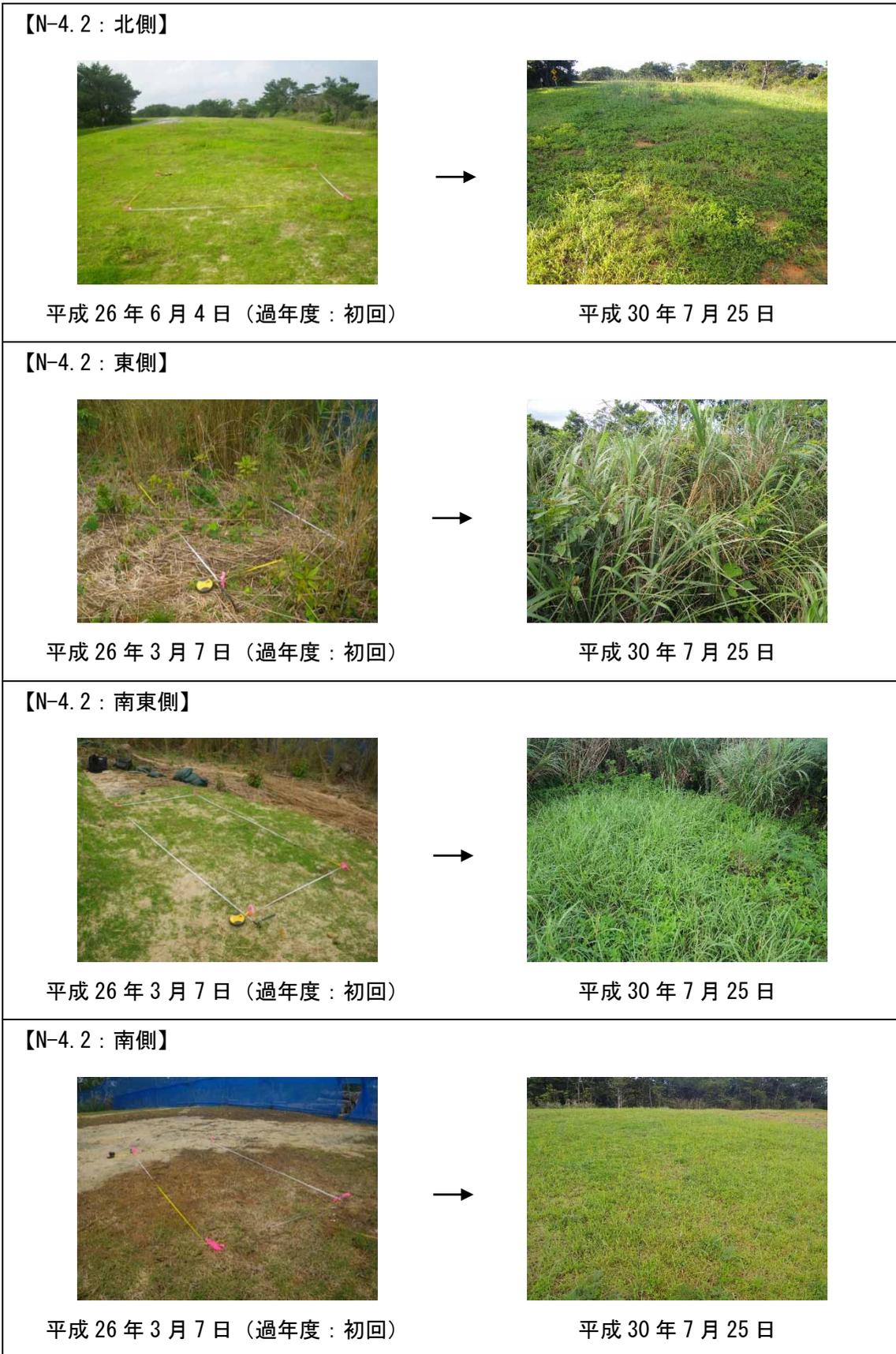


図 7.1.3-37(1) 無障害物帯形成地の植生状況(N-4.2)

【N-4.2 : 西側】



平成 26 年 3 月 7 日 (過年度 : 初回)



平成 30 年 7 月 25 日

図 7.1.3-37(2) 無障害物帯形成地の植生状況(N-4.2)

5) 工事による副次的影響を復元した箇所における植生状況

工事による副次的影響を復元した箇所の植生の回復状況を図 7.1.3-38 に示した。

N-4.1 の西側及び北西の土砂置き場の復元箇所については、張芝が行われ、草丈 0.5～1.0m 程度の草地環境となっており、裸地はみられない。

N-4.2 の着陸帯の北側及び南側の復元箇所については、張芝が行われ、草丈 0.2m 程度の草地環境となっており、概ね裸地はみられない。

既存道路北側作業ヤードについては、砕石敷工がおこなわれており、平成 31 年 1 月時点において、道路改修等工事に伴い資材が搬入されていた。植生は確認されなかった。

H 付近の作業ヤードについては、砕石や残土が残り、残土部には赤土流出防止対策の侵食防止剤の吹付け処理が行われている。ヤード南側の吹付処理箇所は草丈 0.4m 程度の草地環境となっているほか、ヤード北側は工事用道路の道路拡張工事に伴い、砕石等の資材が搬入されている。

G 直近の作業ヤードについては、土壌流出防止対策のため、チップ剤によるマルチングが行われている。草丈 0.1m 程度の草本が僅かに生育していた。

既存道路北側作業ヤード、H 付近の作業ヤード、G 直近の作業ヤードについては、植生の被度が低かった。

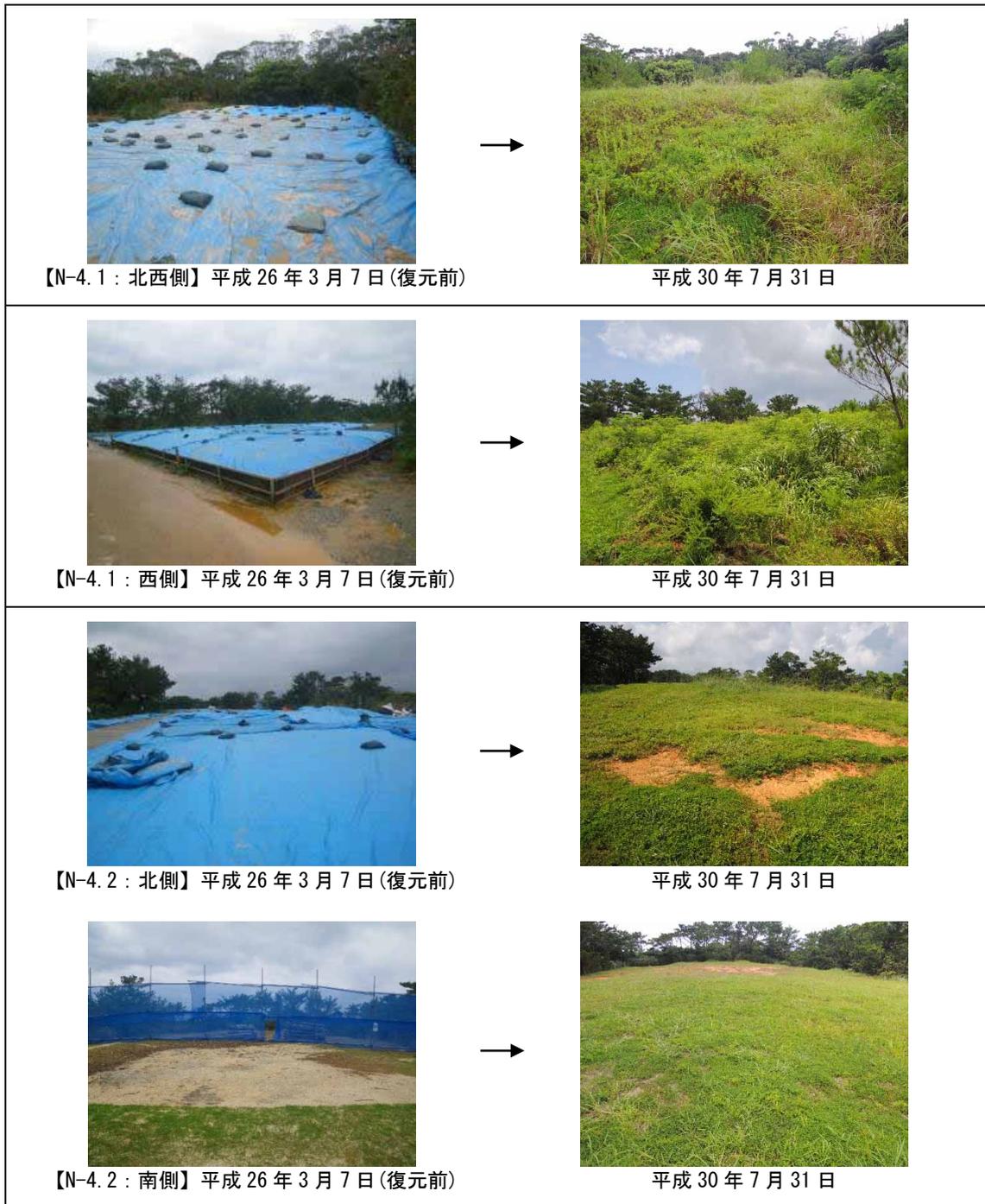


図 7.1.3-38(1) 工事による副次的影響の復元箇所の回復状況

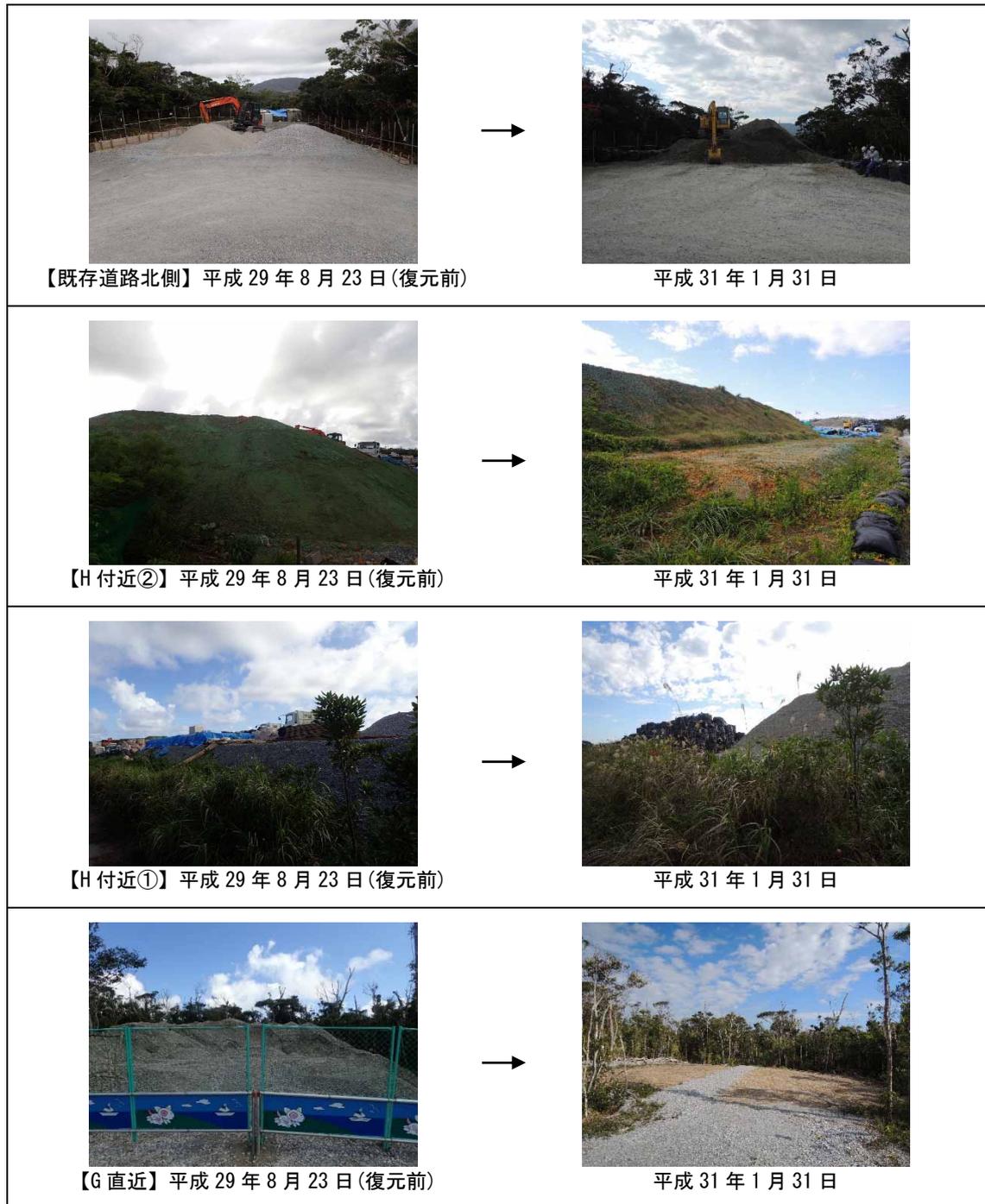


図 7.1.3-38(2) 工事による副次的影響の復元箇所の回復状況